

第3章 高齢者一般調査B

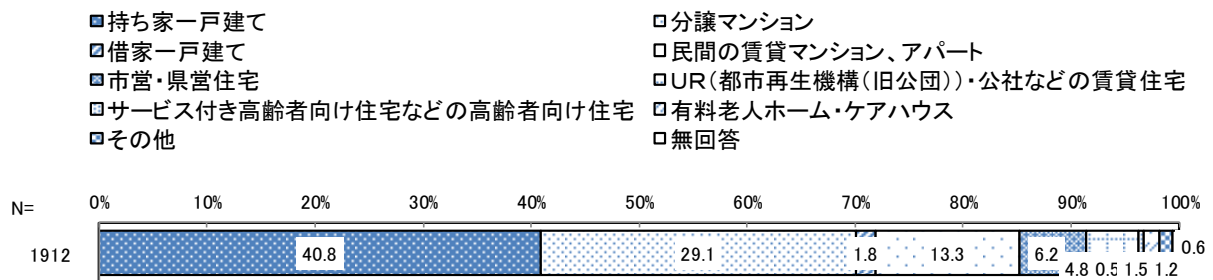
1. 現在の住まいについて

(1) 居住の状況

①住居形態

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

【図表 3-1-1 住居形態】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が40.8%と最も高く、次いで「分譲マンション」が29.1%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が69.9%となっている。

【図表 3-1-2 住居形態×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	UR(都市再生機構(旧公団))・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答
全 体		1912	40.8	29.1	1.8	13.3	6.2	4.8	0.5	1.5	1.2	0.6
性 別	男性	749	40.6	29.5	2.1	14.6	6.5	3.7	0.1	0.8	1.3	0.7
	女性	1119	40.9	29.4	1.7	12.4	5.9	5.3	0.8	2.1	0.9	0.6
年 齢 別	65～69歳	435	32.9	39.3	2.3	17.0	3.9	4.1	0.2	0.0	0.0	0.2
	70～74歳	470	38.7	29.8	2.1	15.7	7.2	4.3	0.2	0.2	1.5	0.2
	75～79歳	462	44.2	26.0	1.7	11.7	7.4	5.8	0.2	1.5	0.9	0.6
	80～84歳	272	48.2	23.2	0.7	8.8	8.5	5.5	1.8	1.5	1.5	0.4
	85～89歳	147	49.0	24.5	2.7	10.2	3.4	2.7	0.7	3.4	2.0	1.4
	90歳以上	86	37.2	24.4	1.2	8.1	2.3	4.7	1.2	14.0	2.3	4.7
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	518	29.2	27.8	2.1	19.3	8.9	6.6	1.4	2.7	1.7	0.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	44.1	31.7	1.8	10.4	5.3	4.2	0.3	0.8	0.7	0.7
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	36.0	41.6	2.2	11.2	0.0	4.5	1.1	0.0	1.1	2.2
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	47.8	17.9	4.5	11.9	10.4	3.0	0.0	4.5	0.0	0.0
	二世帯同居世帯	295	50.2	28.1	1.0	11.2	4.7	2.7	0.0	0.7	0.7	0.7
	三世帯同居世帯	44	63.6	20.5	0.0	9.1	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0
	その他の世帯	76	38.2	27.6	1.3	15.8	6.6	5.3	0.0	2.6	2.6	0.0

年齢別にみると、65～69歳では「分譲マンション」(39.3%)が最も高く、70歳以上では「持ち家一戸建て」が4割近くから5割弱で最も高い。

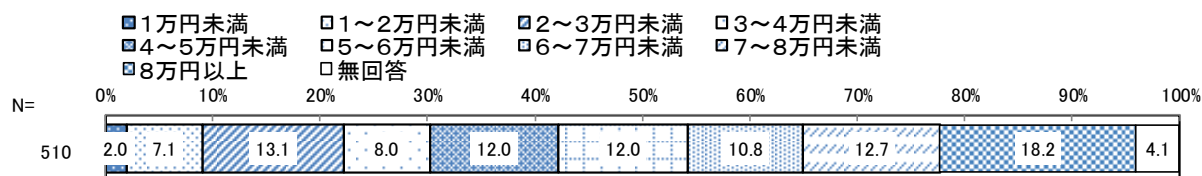
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「民間の賃貸マンション、アパート」(19.3%)が他と比べて高くなっている。

②住まいの1か月の家賃

【問9】で「3」～「7」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。
（○は1つ）

【図表 3-1-3 住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「8万円以上」が18.2%と最も高く、次いで「2～3万円未満」が13.1%、「7～8万円未満」が12.7%となっている。

【図表 3-1-4 住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・世帯構成別】

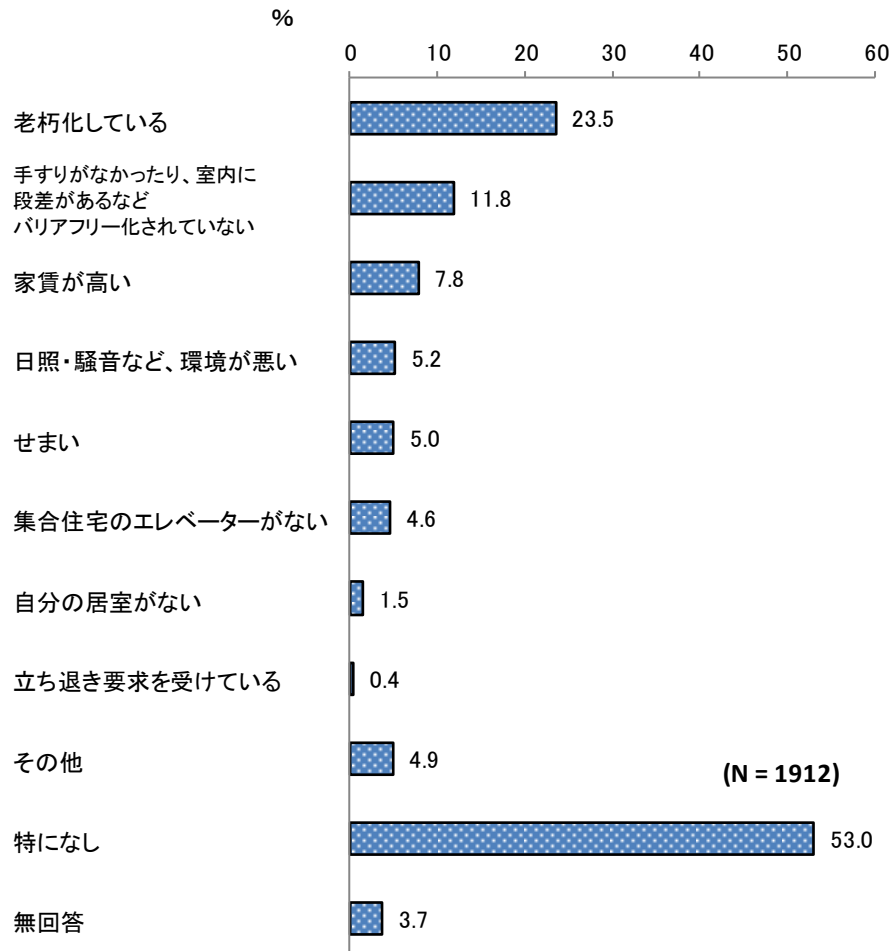
		回答数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7～8万円未満	8万円以上	(%) 無回答
全 体		510	2.0	7.1	13.1	8.0	12.0	12.0	10.8	12.7	18.2	4.1
性別	男性	203	1.0	8.9	12.3	9.4	12.3	10.3	12.3	7.9	20.7	4.9
	女性	292	2.4	6.2	13.0	6.8	11.3	13.4	9.6	16.1	17.5	3.8
年齢別	65～69歳	120	0.0	4.2	9.2	6.7	10.0	15.0	12.5	15.0	26.7	0.8
	70～74歳	139	3.6	6.5	13.7	8.6	10.1	9.4	10.8	14.4	18.7	4.3
	75～79歳	124	0.8	12.1	14.5	8.9	13.7	10.5	9.7	11.3	15.3	3.2
	80～84歳	69	4.3	5.8	13.0	7.2	15.9	11.6	10.1	7.2	13.0	11.6
	85～89歳	29	0.0	10.3	6.9	3.4	10.3	20.7	10.3	13.8	17.2	6.9
	90歳以上	15	0.0	0.0	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	13.3	13.3	0.0
世帯構成別	一人暮らし世帯	198	3.5	9.1	13.1	11.6	13.1	14.1	10.1	11.6	11.1	2.5
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	167	0.6	7.2	13.8	6.0	12.6	9.6	12.0	13.2	21.0	4.2
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	17	0.0	5.9	0.0	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6	47.1	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	20	0.0	5.0	25.0	5.0	10.0	15.0	0.0	10.0	20.0	10.0
	二世帯同居世帯	58	1.7	3.4	8.6	6.9	5.2	8.6	13.8	8.6	31.0	12.1
	三世帯同居世帯	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	その他の世帯	22	0.0	4.5	13.6	0.0	13.6	22.7	9.1	22.7	13.6	0.0

世帯構成別にみると、夫婦だけの世帯と二世帯同居世帯では「8万円以上」、あなたとその他の高齢者のみの世帯では「2～3万円未満」がそれぞれ最も高い。一人暮らし世帯とその他の世帯では「5～6万円未満」が最も高く、その他の世帯では「7～8万円未満」も同率で最も高い。

(2) 住まいの困りごと

問 10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-2-1 住まいの困りごと】



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 53.0%と最も高く、半数以上が今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「老朽化している」が 23.5%で最も高く、次いで「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 11.8%となっている。

【図表 3-2-2 住まいの困りごと×性別・年齢別・健康状態別・住居形態別】

(%)														
		回答数	せまい	老朽化している	内に段差があるなどバリアフリー化されていない	手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない	日照・騒音など、環境が悪い	家賃が高い	立ち退き要求を受けている	自分の居室がない	集合住宅のエレベーターがない	その他	特になし	無回答
全 体		1912	5.0	23.5	11.8	5.2	7.8	0.4	1.5	4.6	4.9	53.0	3.7	
性別	男性	749	6.5	25.1	11.3	5.5	7.6	0.3	1.6	4.0	3.7	53.1	3.3	
	女性	1119	3.7	22.8	12.2	5.2	7.9	0.4	1.3	5.2	5.5	53.1	3.6	
年齢別	65～69歳	435	6.7	24.4	9.4	7.8	11.0	0.7	3.0	5.5	5.3	50.8	1.6	
	70～74歳	470	4.7	24.7	10.2	4.7	7.0	0.2	0.4	3.4	5.3	52.8	3.8	
	75～79歳	462	4.5	22.9	14.9	5.4	8.2	0.6	1.7	5.4	5.2	50.4	3.9	
	80～84歳	272	3.3	23.9	11.8	3.7	6.3	0.0	0.7	5.9	3.7	56.6	4.8	
	85～89歳	147	4.8	21.8	16.3	2.7	4.1	0.0	0.7	2.7	2.7	58.5	3.4	
	90歳以上	86	3.5	23.3	10.5	4.7	3.5	0.0	1.2	3.5	4.7	58.1	5.8	
健康状態別	健康である	854	2.7	21.8	8.3	4.3	6.7	0.2	0.8	3.4	4.2	59.5	3.3	
	外出はひとりのできる	841	6.7	24.0	14.1	6.7	9.2	0.6	1.9	5.8	4.6	48.3	3.7	
	外出はひとりできない	131	8.4	29.0	16.0	3.8	7.6	0.0	1.5	4.6	6.9	46.6	3.1	
	ベッドでの生活が主体	28	10.7	28.6	32.1	3.6	10.7	0.0	3.6	7.1	14.3	39.3	0.0	
	一日中ベッドの上	12	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	58.3	0.0	
住居形態別	持ち家一戸建て	781	3.2	29.2	13.8	4.5	2.6	0.3	0.9	1.7	4.9	53.4	3.3	
	分譲マンション	557	4.1	16.9	9.9	5.0	2.0	0.2	1.3	5.4	4.3	61.4	4.1	
	借家一戸建て	35	0.0	25.7	5.7	8.6	11.4	5.7	0.0	0.0	2.9	51.4	5.7	
	民間の賃貸マンション、アパート	255	9.8	22.0	10.2	6.3	27.5	0.8	4.3	5.9	5.1	40.4	1.2	
	市営・県営住宅	119	5.9	30.3	16.8	4.2	9.2	0.0	1.7	13.4	5.0	45.4	5.0	
	UR(都市再生機構(旧公団))・公社などの賃貸住宅	91	8.8	20.9	9.9	6.6	28.6	0.0	1.1	13.2	7.7	39.6	3.3	
	サービス付き高齢者向け住宅など的高齢者向け住宅	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0	
	有料老人ホーム・ケアハウス	29	10.3	6.9	6.9	6.9	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1	6.9	
	その他	23	17.4	13.0	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0	8.7	13.0	60.9	0.0	

年齢別では、特に大きな差はみられない。

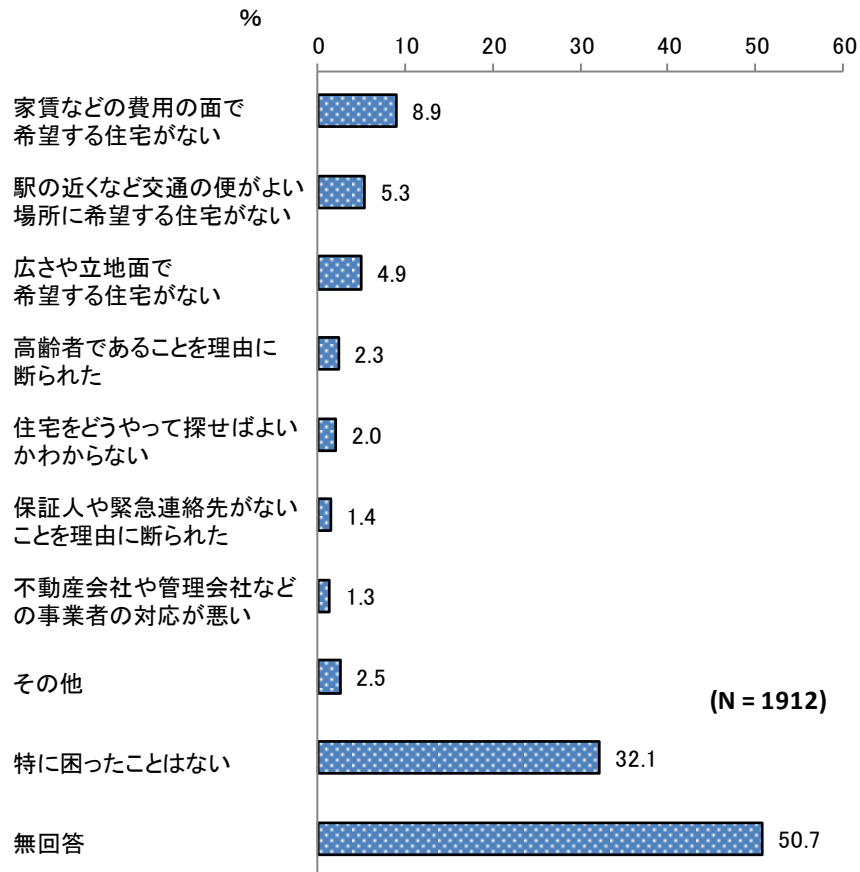
住居形態別にみると、持ち家一戸建て、市営・県営住宅では「老朽化している」が3割前後と比較的高くなっている。また、民間の賃貸マンション、アパート、UR（都市再生機構（旧公団））・公社などの賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅では、「家賃が高い」が3割近くから3割と、他と比べて高くなっている。

(3) 住み替えで困ったこと

これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。

問 11 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-3-1 住み替えで困ったこと】



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 32.1%と最も高く、次いで「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」が 8.9%、「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」が 5.3%となっている。

【図表 3-3-2 住み替えで困ったこと×世帯構成別】

													(%)
		回答数	住宅をどうやって探せばよいかわからない	家賃などの費用の面で希望する住宅がない	広さや立地面で希望する住宅がない	駅の近くなど交通の便が悪い場所に希望する住宅がない	不動産会社や管理会社などの事業者の対応が悪い	高齢者であることを理由に断られた	保証人や緊急連絡先がないことを理由に断られた	その他	特に困ったことはない	無回答	
全 体		1912	2.0	8.9	4.9	5.3	1.3	2.3	1.4	2.5	32.1	50.7	
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	3.9	12.9	3.9	5.8	2.5	4.4	2.9	3.9	30.3	47.7	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	1.2	5.9	4.6	5.4	0.7	1.7	0.8	2.0	34.2	52.0	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	0.0	14.6	11.2	9.0	3.4	0.0	1.1	0.0	41.6	37.1	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	1.5	9.0	1.5	3.0	0.0	4.5	3.0	7.5	38.8	41.8	
	二世帯同居世帯	295	2.7	9.2	6.1	5.8	0.7	0.3	0.0	1.0	28.1	54.9	
	三世帯同居世帯	44	0.0	6.8	9.1	2.3	2.3	4.5	0.0	0.0	22.7	61.4	
	その他の世帯	76	0.0	7.9	3.9	1.3	0.0	0.0	1.3	2.6	28.9	60.5	

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯では「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」「広さや立地面で希望する住宅がない」がともに1割台で、他と比べて高くなっている。

2. 健康・福祉などについて

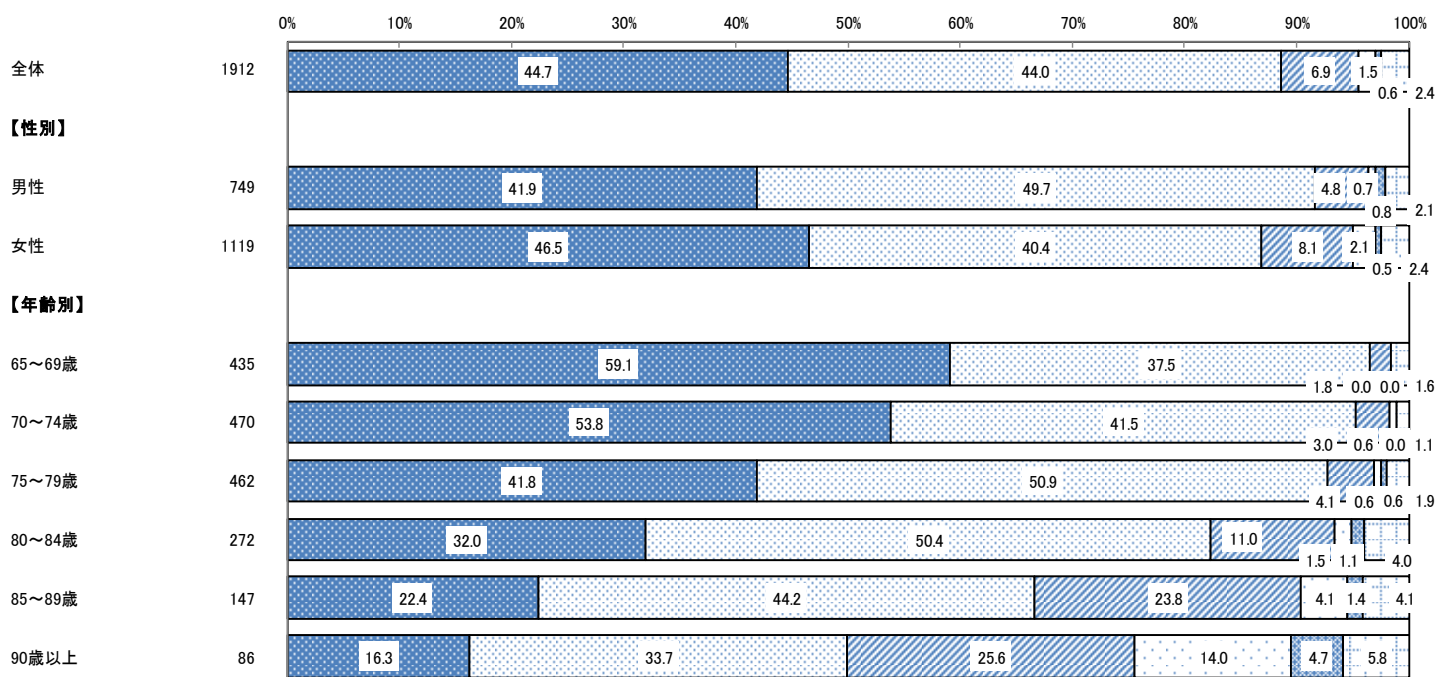
(1) 健康状態と運動習慣

①健康状態

問 12 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 3-4-1 健康状態×性別・年齢別】

- 健康で、普通に生活している
- 何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる
- 家の中での生活はおおむね自分で行っているが、何らかの病気や障がいがあり、外出はひとりでできない
- 病気や障がいがあって、家の中での生活の多くに手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)の上での生活が主体である
- 病気や障がいがあるが、家の中での生活全般に手助けが必要で、一日中ベッド(ふとん)の上にいる
- 無回答



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が44.7%と最も高く、次いで「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」が44.0%となっており、合わせて88.7%の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性では「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりでできる」(49.7%)が、女性より高くなっている。

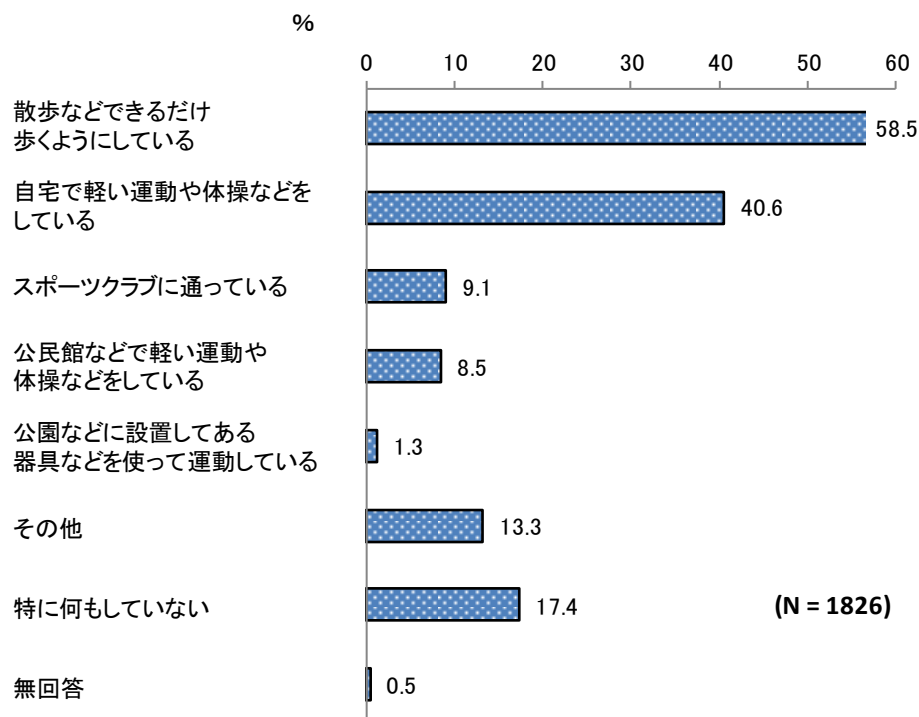
年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が低くなっている。

②運動習慣

【問 12】で「1」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 12-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(○はいくつでも)

【図表 3-4-2 運動習慣】



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 58.5%と最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が 40.6%、「スポーツクラブに通っている」が 9.1%となっている。なお、「特に何もしていない」が 17.4%、「その他」が 13.3%となっている。

【図表 3-4-3 運動習慣×性別・年齢別】

											(%)
		回 答 数	散歩 など でき る だけ	自宅 で 軽い 運動 や 体 操 など を して いる	公民 館 など で 軽い 運 動 や 体 操 など を して いる	公園 など に 設置 して ある 器具 など を使 って 運動 して いる	スポ ー ツ クラ ブ に 通 っ て い る	そ の 他	特 に 何 も し て い ない	無 回 答	
全 体		1826	58.5	40.6	8.5	1.3	9.1	13.3	17.4	0.5	
性 別	男性	722	61.1	37.7	3.7	1.8	6.9	15.7	18.7	0.3	
	女性	1063	57.7	42.7	11.9	0.8	10.7	11.9	15.9	0.7	
年 齢 別	65～69歳	428	55.1	33.6	5.4	0.7	13.1	10.3	22.4	0.2	
	70～74歳	462	60.6	35.7	8.0	1.1	10.2	13.4	14.9	0.6	
	75～79歳	447	62.0	45.0	10.7	0.9	7.8	13.4	15.2	0.9	
	80～84歳	254	61.0	48.8	9.1	1.6	7.5	15.7	14.2	0.4	
	85～89歳	133	60.2	51.1	12.8	4.5	3.8	16.5	17.3	0.0	
	90歳以上	65	43.1	40.0	7.7	0.0	3.1	18.5	21.5	0.0	

性別にみると、女性では「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が4割強、「公民館などで軽い運動や体操などを行っている」「スポーツクラブに通っている」がともに1割を超え、男性より高くなっている。

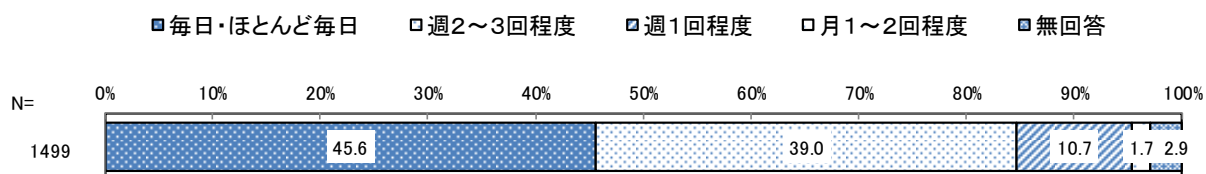
年齢別にみると、85～89歳では、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」(51.1%)が他に比べ高くなっている。

③運動頻度

【問 12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問 12-2 それはどのくらいの頻度でしていますか。(○は1つ)

【図表 3-4-4 運動頻度】



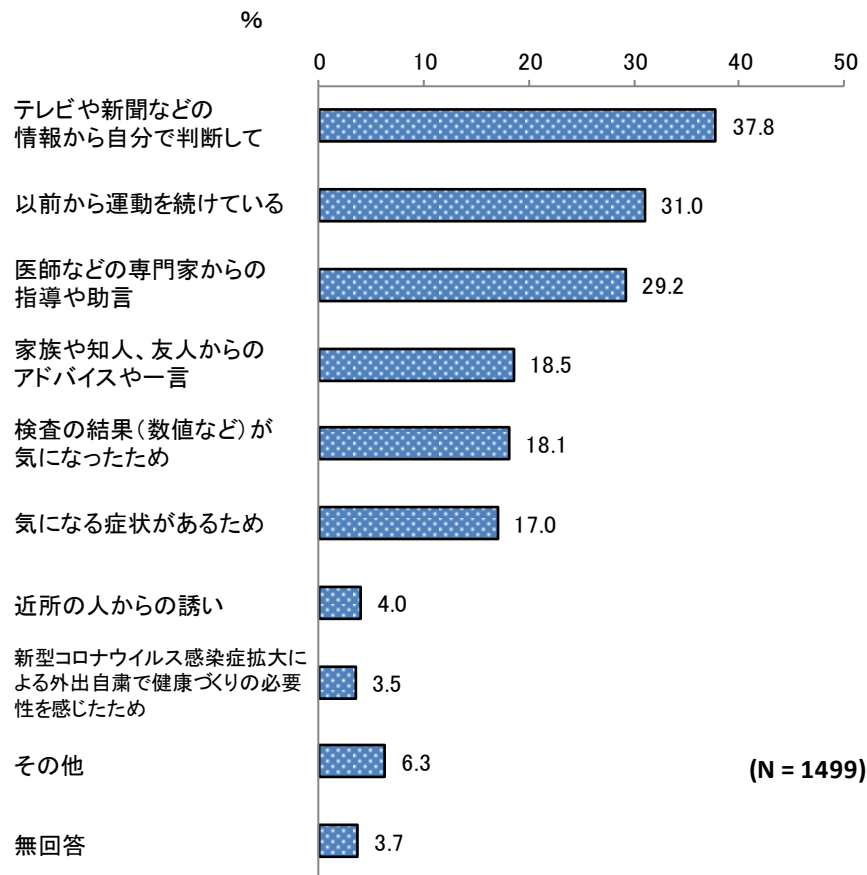
運動頻度は、「毎日・ほとんど毎日」が 45.6%と最も高く、次いで「週2～3回程度」が 39.0%、「週1回程度」が 10.7%となっている。

④運動に取り組むきっかけ

【問12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問12-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-5 運動に取り組むきっかけ】



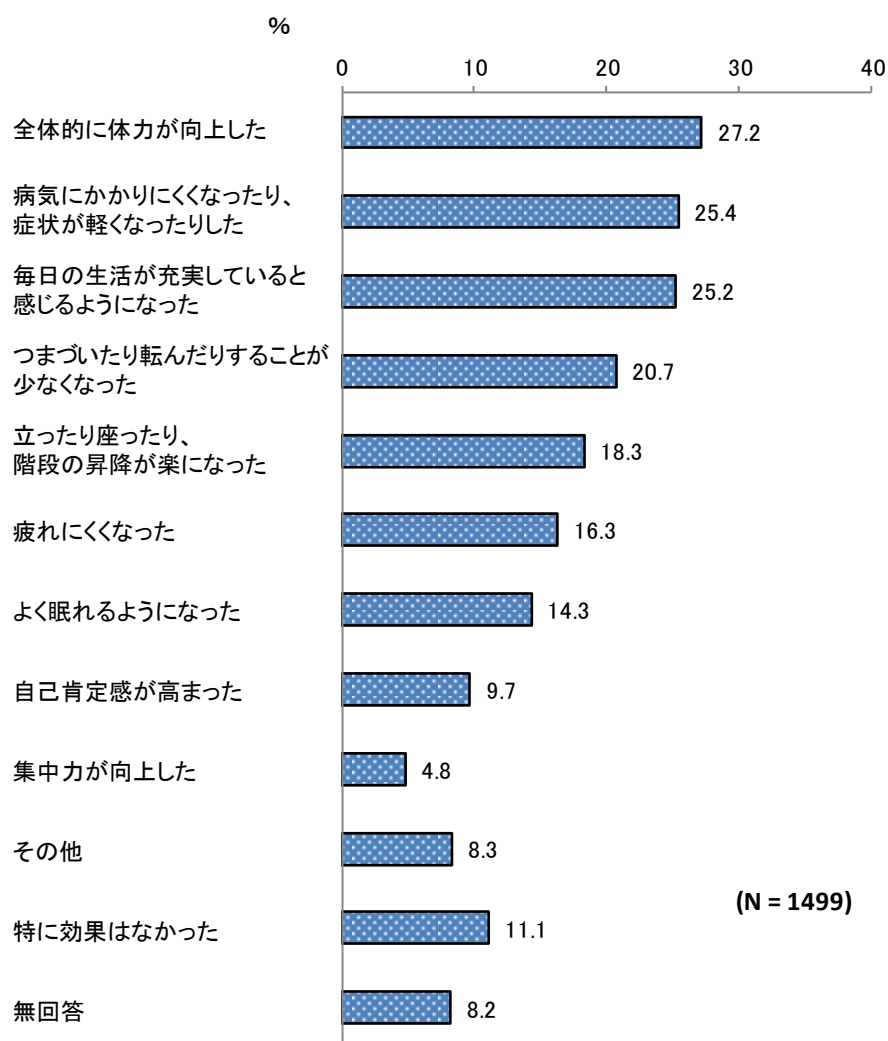
運動に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 37.8%と最も高く、次いで「以前から運動を続けている」が 31.0%、「医師などの専門家からの指導や助言」が 29.2%となっている。

⑤運動の効果

【問 12-1】で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問 12-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-6 運動の効果】



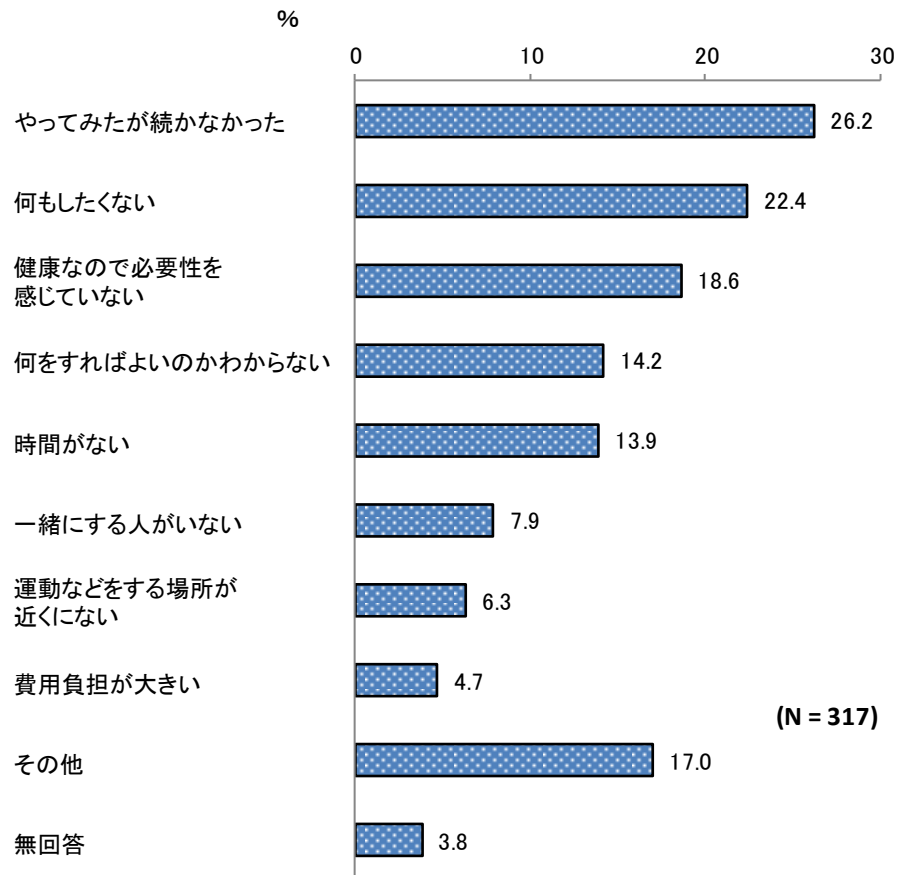
運動の効果は、「全体的に体力が向上した」が 27.2%と最も高く、次いで「病気にかかりにくくなり、症状が軽くなりした」が 25.4%、「毎日の生活が充実していると感じるようになった」が 25.2%となっている。

⑥運動をしていない理由

【問 12－1】で「7」と答えた方にうかがいます。

問 12－5 何もしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【図表 3-4-7 運動をしていない理由】



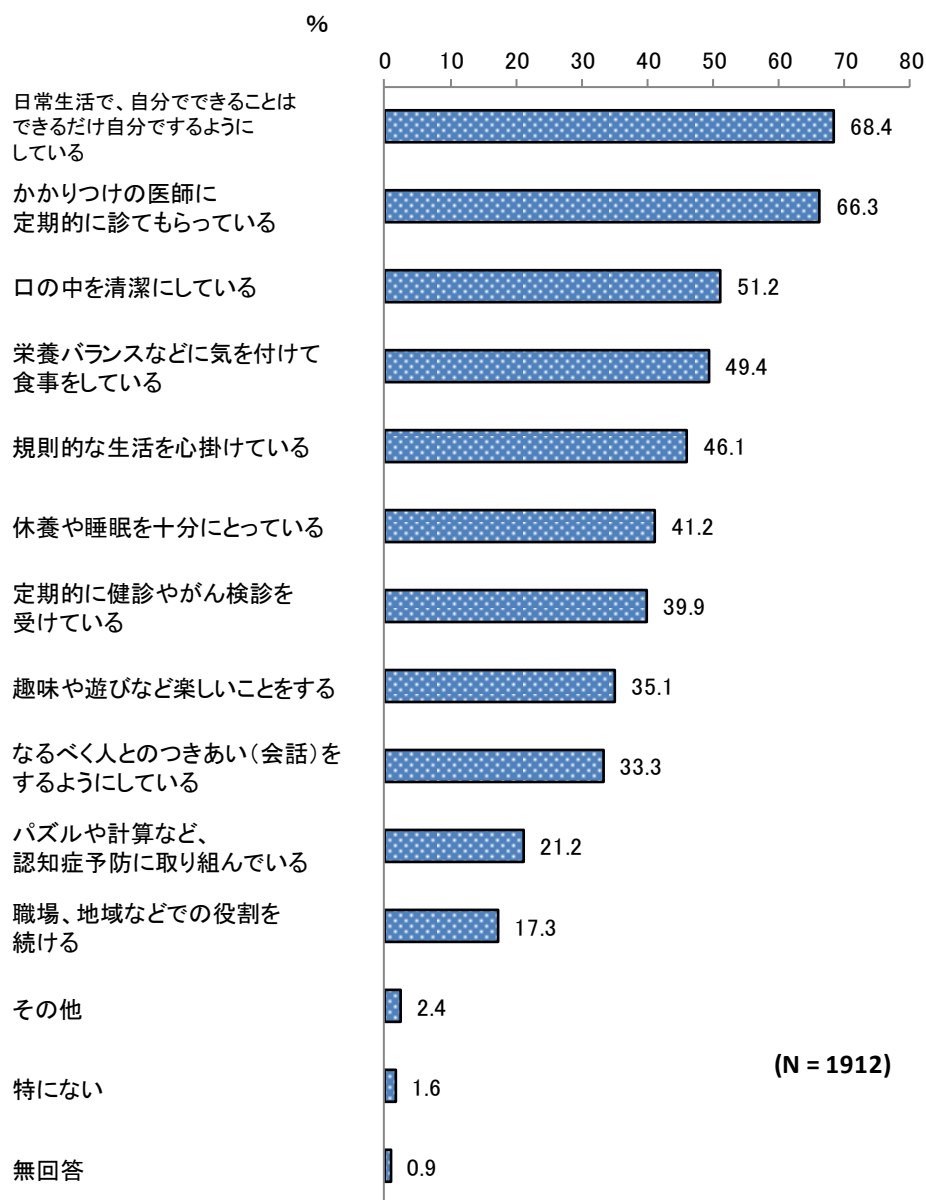
運動をしていない理由は、「やって見たが続かなかった」が 26.2%と最も高く、次いで「何もしたくない」が 22.4%、「健康なので必要性を感じていない」が 18.6%となっている。

(2) 運動以外の健康づくり習慣

①運動以外で気を付けていること

問 13 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。
(○はいくつでも)

【図表 3-5-1 運動以外で気を付けていること】



運動以外で気を付けていることは、「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」が 68.4%と最も高く、次いで「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が 66.3%、「口の中を清潔にしている」が 51.2%となっている。

【図表 3-5-2 運動以外で気を付けていること×性別・年齢別・健康状態別】

(%)

		回答数	定期的にかかりつけの医師に検診を受けている	日常生活で、自分でするようになる	口の中を清潔にしている	休養や睡眠を十分に	規則的な生活を心掛	栄養バランスなどに気を付けている
全 体		1912	66.3	39.9	68.4	51.2	41.2	49.4
性別	男性	749	68.5	41.8	59.8	42.5	41.7	39.0
	女性	1119	64.3	38.7	74.5	57.5	41.0	56.5
年齢別	65～69歳	435	54.9	49.9	64.8	51.3	37.9	49.9
	70～74歳	470	60.2	41.3	66.8	50.0	40.6	46.4
	75～79歳	462	73.4	41.3	71.6	53.9	41.6	53.5
	80～84歳	272	73.9	33.5	73.5	53.3	45.6	54.0
	85～89歳	147	75.5	25.9	72.8	47.6	40.8	39.5
	90歳以上	86	73.3	19.8	59.3	46.5	47.7	44.2
健康状態別	健康である	854	52.5	43.9	68.6	54.8	45.6	56.3
	外出はひとりできる	841	78.6	40.4	72.1	50.8	36.6	44.4
	外出はひとりできない	131	74.8	23.7	65.6	42.0	45.0	46.6
	ベッドでの生活が主体	28	78.6	7.1	10.7	21.4	32.1	28.6
	一日中ベッドの上	12	75.0	25.0	25.0	33.3	41.7	33.3

		回答数	認知症予防に算取りなど、パズルや防犯など組、	趣味や遊びなど楽しいことをする	なるべく人とのつきあ(会話)をするようにしている	職場、地域などでの役割を続ける	その他	特にな	無回答
全 体		1912	21.2	35.1	33.3	17.3	2.4	1.6	0.9
性別	男性	749	15.2	35.0	22.2	21.0	3.3	2.5	0.7
	女性	1119	25.3	35.3	41.1	14.8	1.7	1.1	1.1
年齢別	65～69歳	435	15.2	38.6	29.0	28.0	2.5	2.8	0.2
	70～74歳	470	21.3	37.2	29.4	21.7	1.3	1.1	0.9
	75～79歳	462	22.3	37.0	36.1	13.0	2.6	1.5	0.4
	80～84歳	272	25.7	33.1	39.7	8.5	2.2	1.8	1.8
	85～89歳	147	26.5	27.2	42.9	9.5	3.4	0.0	3.4
	90歳以上	86	24.4	17.4	29.1	2.3	4.7	2.3	1.2
健康状態別	健康である	854	21.1	44.7	39.6	24.5	2.6	1.9	0.6
	外出はひとりできる	841	22.4	31.3	29.7	13.6	1.7	1.0	0.6
	外出はひとりできない	131	19.1	9.9	24.4	3.1	2.3	2.3	1.5
	ベッドでの生活が主体	28	17.9	3.6	0.0	0.0	10.7	3.6	7.1
	一日中ベッドの上	12	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0

性別にみると、女性では「日常生活で、自分ですることはできるだけ自分でするようにしている」(74.5%)、「口の中を清潔にしている」(57.5%)、「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」(56.5%)、「なるべく人とのつきあい(会話)をするようにしている」(41.1%)、「パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる」(25.3%)が男性に比べ高くなっている。

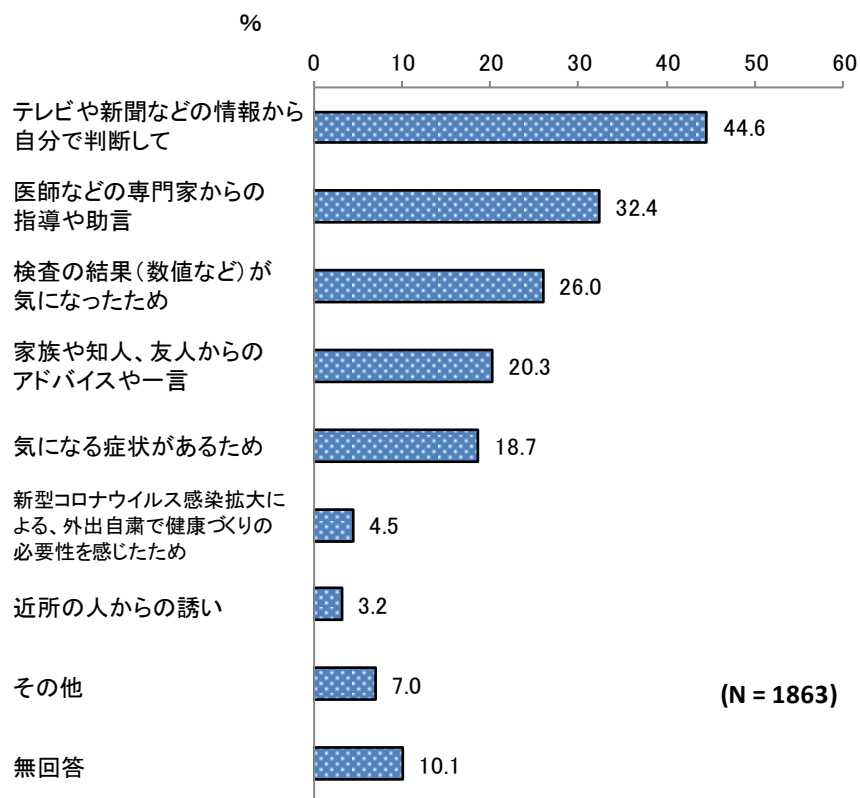
健康状態別にみると、健康である人は「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「趣味や遊びなど楽しいことをする」「なるべく人とのつきあい(会話)をするようにしている」「職場、地域などでの役割を続ける」の割合が高くなっている。

②運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問13】で「1」～「12」と答えた方にうかがいます。

問13-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

【図表 3-5-3 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が44.6%と最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が32.4%、「検査の結果（数値など）が気になったため」が26.0%となっている。

【図表 3-5-4 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	医師などの専門家からの指導や助言	テレビや新聞などの情報から自分で判断して	家族や知人、友人からのアドバイス	近所の人からの誘い	検査の結果（数値など）が気になったため	気になる症状があるため	新型コロナウイルスの感染拡大による外出の自粛や健康づくりの必要性を感じたため	その他	(%) 無回答
全 体		1863	32.4	44.6	20.3	3.2	26.0	18.7	4.5	7.0	10.1
性別	男性	725	37.4	41.0	17.9	1.2	33.1	21.1	3.0	7.4	8.6
	女性	1095	28.9	47.2	21.8	4.6	21.5	17.1	5.5	6.8	10.9
年齢別	65～69歳	422	30.1	48.1	17.1	1.9	32.7	18.2	4.0	9.5	4.5
	70～74歳	461	28.6	44.7	22.1	2.6	25.8	17.4	4.1	4.8	10.8
	75～79歳	453	33.1	45.7	18.1	4.4	29.4	20.8	4.4	6.8	11.3
	80～84歳	262	34.4	46.9	24.0	3.4	20.2	18.3	5.7	6.9	13.4
	85～89歳	142	41.5	37.3	23.9	4.2	19.0	21.1	4.2	4.9	9.9
	90歳以上	83	37.3	27.7	19.3	4.8	7.2	15.7	6.0	12.0	15.7

性別にみると、男性では「医師などの専門家からの指導や助言」（37.4%）、「検査の結果（数値など）が気になったため」（33.1%）が女性より高く、女性では「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」（47.2%）が男性より高くなっている。

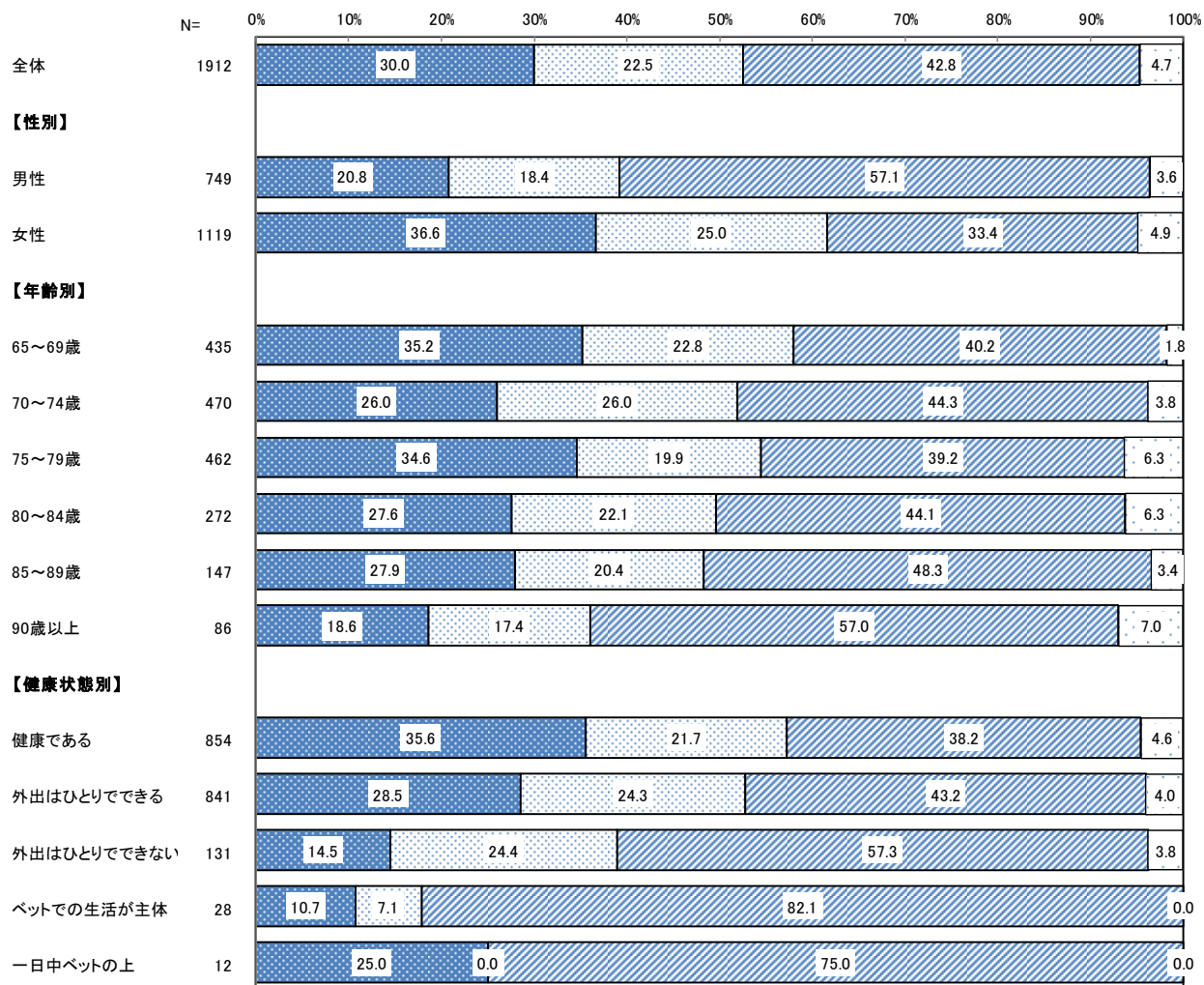
年齢別にみると、65～69歳では「検査の結果（数値など）が気になったため」（32.7%）、85～89歳では「医師などの専門家からの指導や助言」（41.5%）が、他と比べて高くなっている。

(3) フレイルの認知度

問 14 「フレイル」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

【図表 3-6-1 フレイルの認知度×性別・年齢別】

■言葉だけでなく、内容も知っている □言葉は知っているが、内容はよく知らない ▨知らない □無回答



フレイルの認知度は、「知らない」が 42.8%と最も高く、次いで「言葉だけでなく、内容も知っている」が 30.0%、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が 22.5%となっている。

性別にみると、男性では「知らない」(57.1%)が女性に比べ高くなっている。

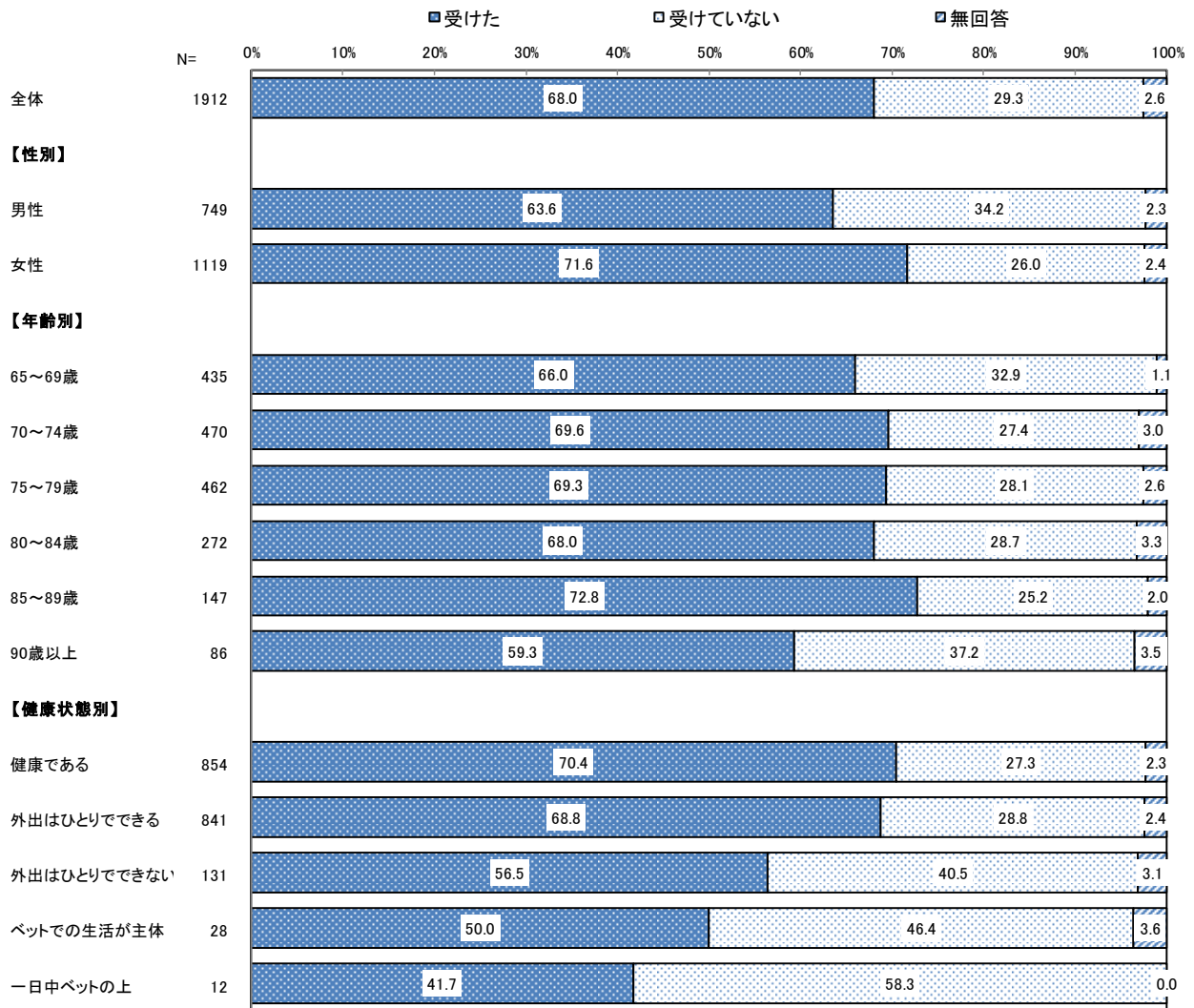
年齢別にみると、90歳以上では「知らない」(57.0%)が他と比べて高くなっている。

健康状態別にみると、健康である人はそれ以外の状態の人に比べ、「知らない」(38.2%)が低く、「言葉だけでなく内容も知っている」(35.6%)が高くなっている。

(4) 歯科の定期健診の有無

問 15 あなたは、この1年間に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

【図表 3-7-1 歯科の定期健診の有無×性別・年齢別・健康状態別】



歯科の定期健診の有無は、「受けた」が68.0%、「受けていない」が29.3%となっている。

年齢別にみると、すべての年代で「受けた」が過半数を占め、90歳未満では6割半ばから7割強となっている。

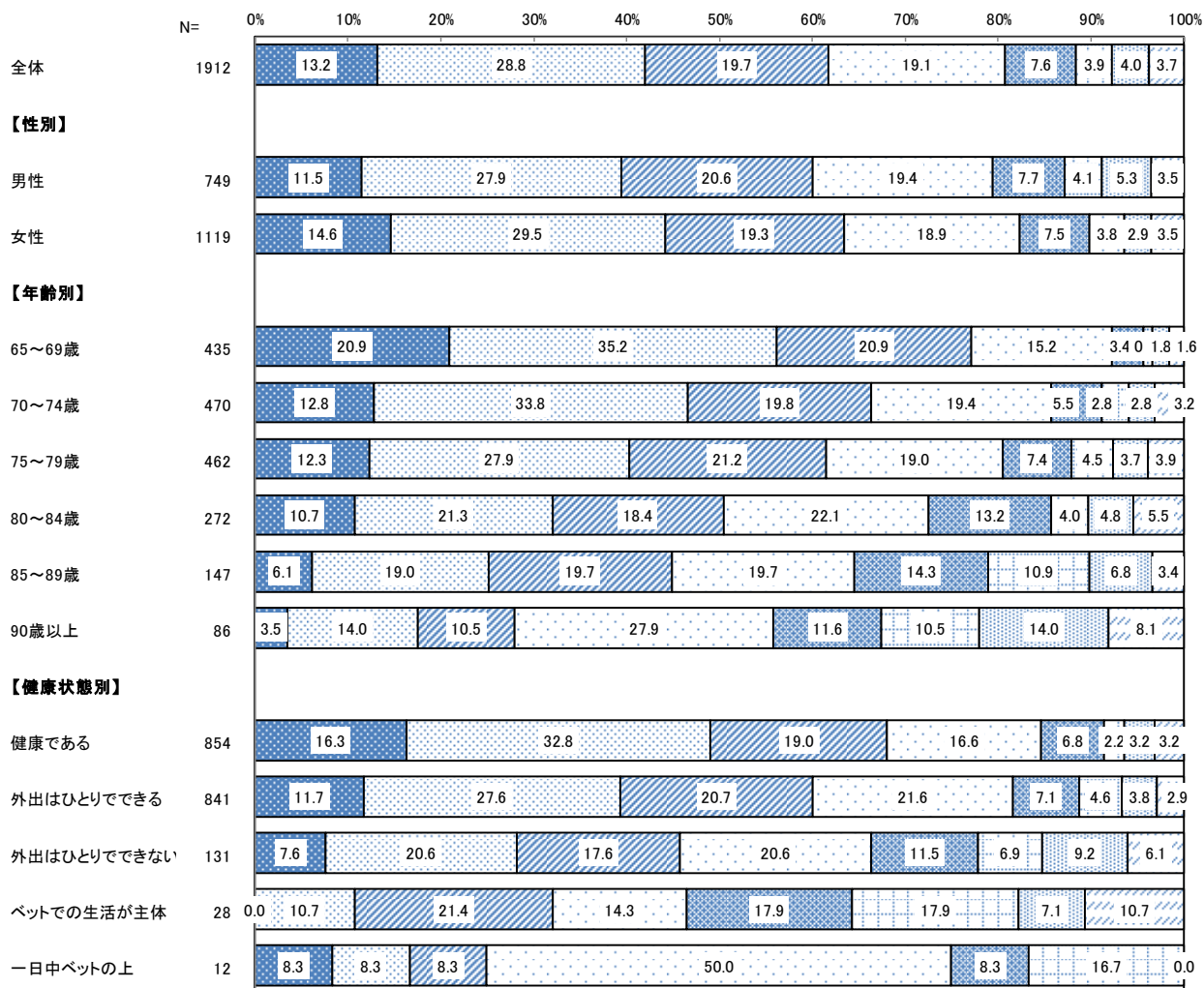
健康状態別にみると、健康状態が悪いほど「受けた」の割合が低く、健康である人では70.4%となったのに対し、一日中ベッドの上の人では41.7%と半数を下回った。

(5) 歯の本数

問 16 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

【図表 3-8-1 歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】

■28本(全部ある) □24～27本 ▨20～23本 □10～19本 ▨5～9本 □1～4本 □0本 □無回答



歯の本数は、「24～27本」が28.8%と最も高く、次いで「20～23本」が19.7%、「10～19本」が19.1%となっている。

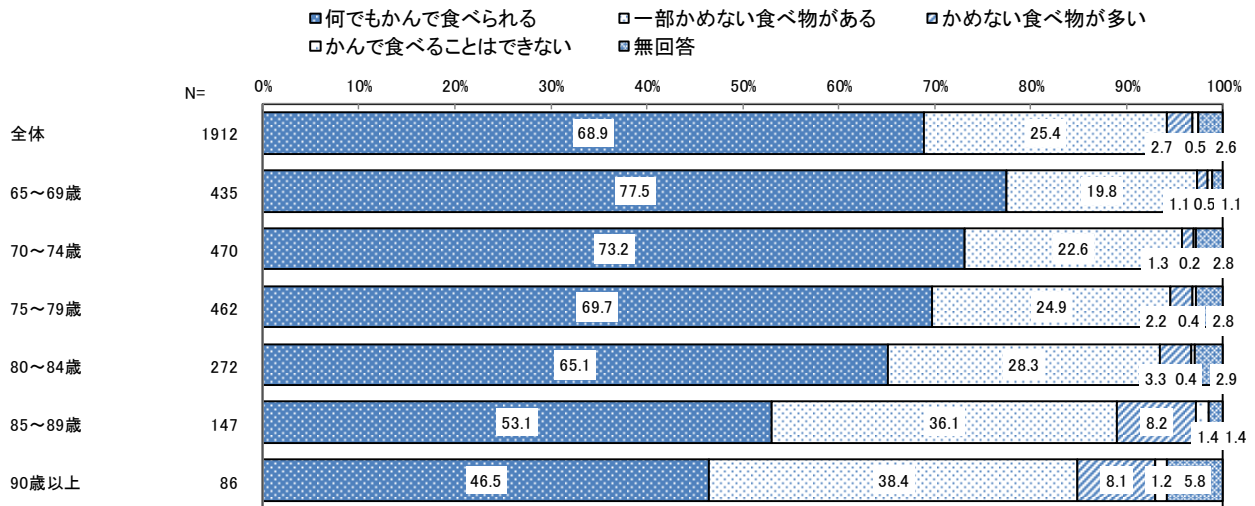
年齢別にみると、年齢が高いほど歯の本数が少ない人の割合が高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態がよいほど歯の本数が20本以上ある人の割合が高くなっている。

(6) 咀嚼の状況

問 17 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

【図表 3-9-1 咀嚼の状況×年齢別】



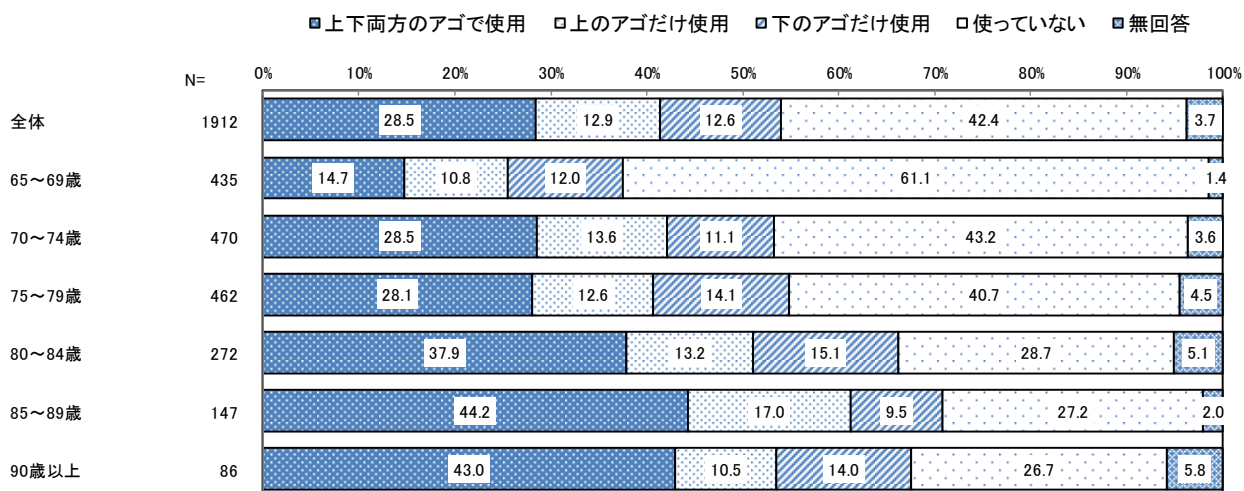
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が 68.9%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が 25.4%、「かめない食べ物が多い」が 2.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなる傾向があり、90歳以上では 46.5%となっている。

（7）入れ歯・ブリッジの使用状況

問 18 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。（○は1つ）

【図表 3-10-1 入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



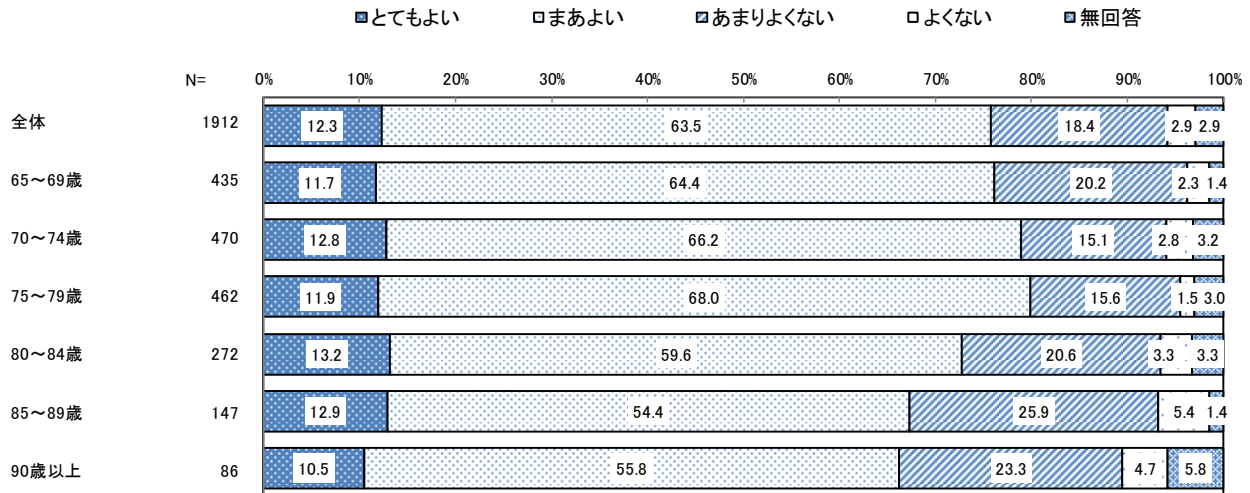
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が 42.4%と最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が 28.5%、「上のアゴだけ使用」が 12.9%となっている。

年齢別にみると、85歳以上では「上下両方のアゴで使用」が4割を超え、比較的高い割合となっている。

(8) 口腔の健康状態

問 19 あなたのお口（歯や歯ぐき，入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【図表 3-11-1 口腔の健康状態×年齢別】



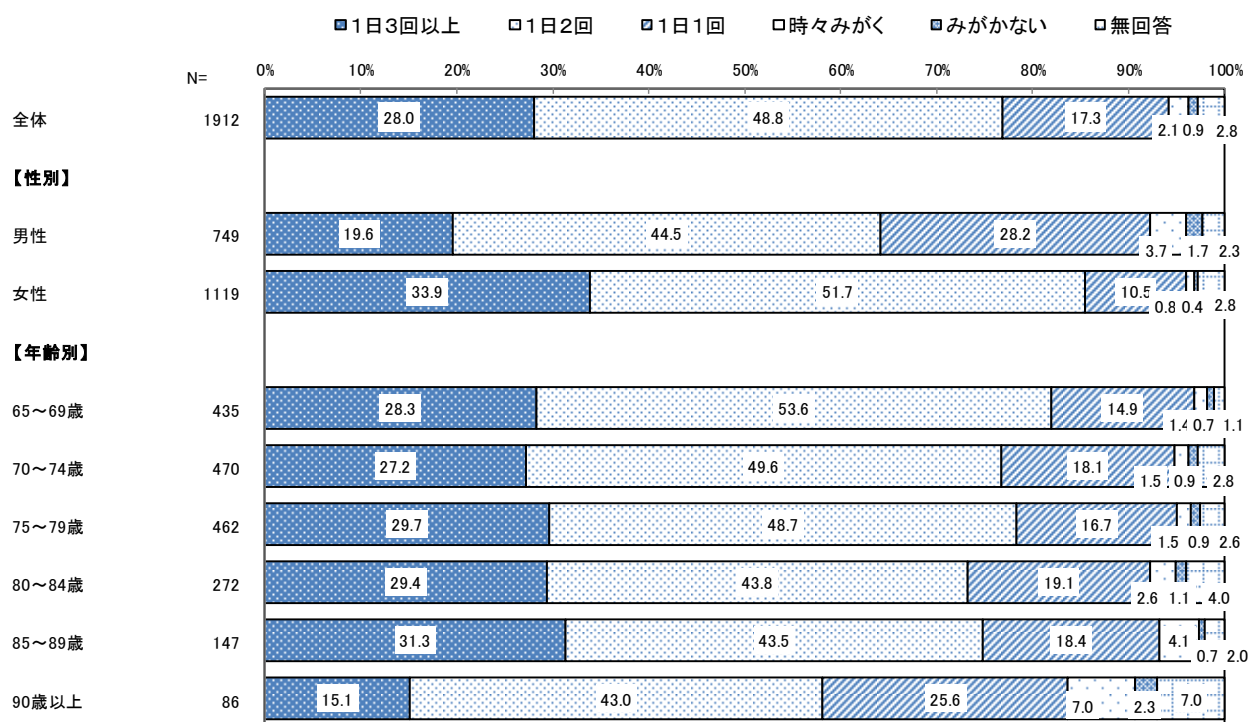
口腔の健康状態は、「まあよい」が 63.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が 18.4%、「とてもよい」が 12.3%となっている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』の割合は 75.8%となっている。

年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では『よい』の割合が7割を下回り、他と比べて低くなっている。

（９）歯みがきの頻度

問 20 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。（○は1つ）

【図表 3-12-1 歯みがきの頻度×性別・年齢別】



歯みがきの頻度は、「1日2回」が48.8%と最も高く、次いで「1日3回以上」が28.0%、「1日1回」が17.3%となっている。

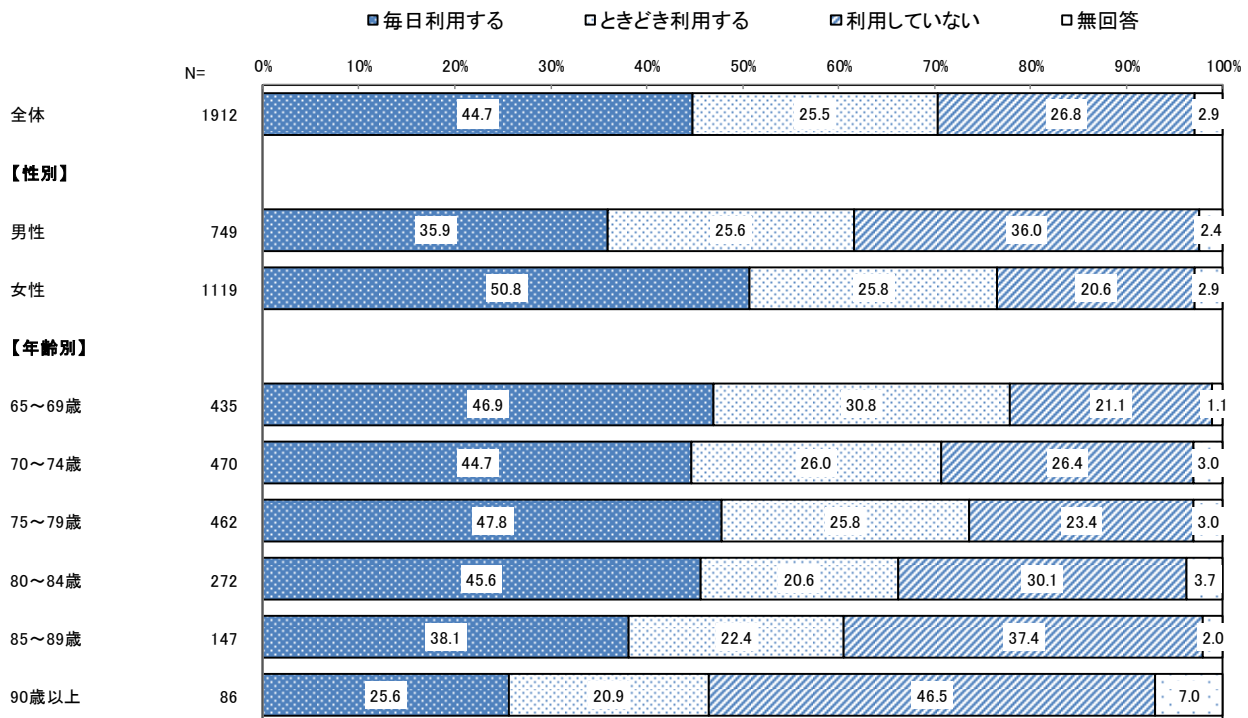
性別にみると、女性では「1日2回」（51.7%）、「1日3回以上」（33.9%）の割合が男性より高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「1日3回以上」（15.1%）が他と比べ低く、「1日1回」（25.6%）が高くなっている。

(10) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 21 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(○は1つ)

【図表 3-13-1 歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「毎日利用する」が 44.7%と最も高く、次いで「利用していない」が 26.8%、「ときどき利用する」が 25.5%となっている。

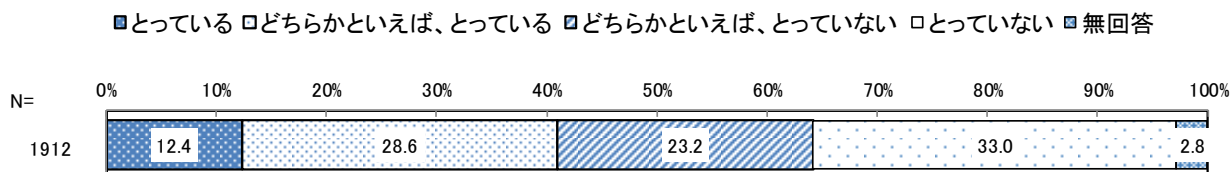
性別にみると、女性では「毎日利用する」(50.8%)が男性より高く、男性では「利用しない」(36.0%)が女性より高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『利用する』(「毎日利用する」と「ときどき利用する」の合計)の割合は概ね低くなる傾向があり、90歳以上では「利用していない」(46.5%)が他に比べ高い割合となっている。

(11) 認知症を正しく理解する行動

問 22 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。(○は1つ)

【図表 3-14-1 認知症を正しく理解する行動】



認知症を正しく理解する行動は、「とっていない」が 33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、とっている」が 28.6%、「どちらかといえば、とっていない」が 23.2%となっている。

【図表 3-14-2 認知症を正しく理解する行動×年齢別】

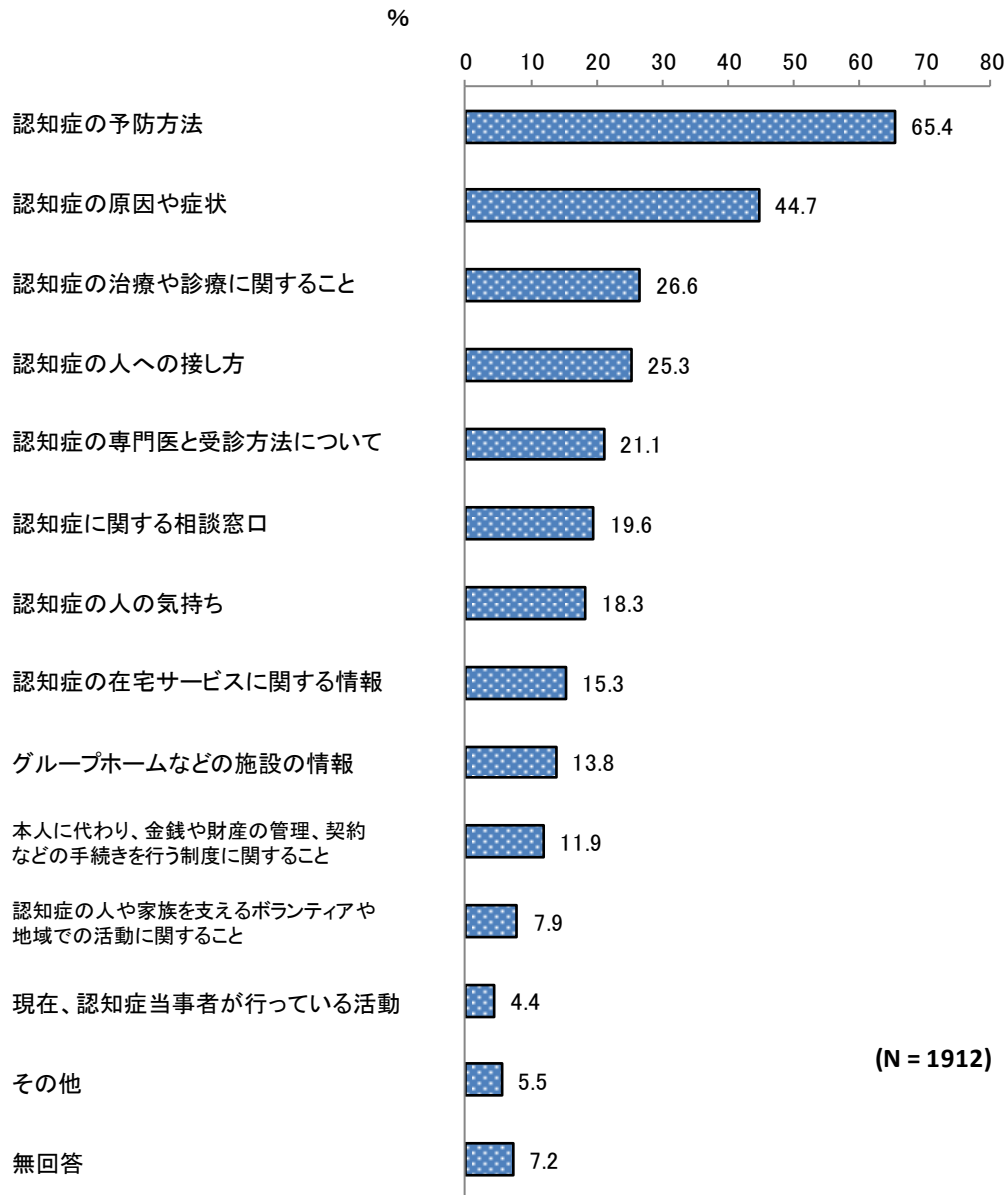
		(%)				
		回答数	とっている	どちらかといえば、とっている	どちらかといえば、とっていない	とっていない
全 体		1912	12.4	28.6	23.2	33.0
年 齢 別	65～69歳	435	11.0	25.3	26.7	36.1
	70～74歳	470	8.7	30.0	24.3	34.0
	75～79歳	462	13.9	30.5	22.7	29.9
	80～84歳	272	13.6	30.1	20.6	32.7
	85～89歳	147	17.7	35.4	17.7	26.5
	90歳以上	86	16.3	17.4	18.6	41.9

年齢別にみると、90歳以上では「とっていない」(41.9%)が比較的高くなっている。

(12) 認知症に関して知りたい内容

問 23 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-15-1 認知症に関して知りたい内容】

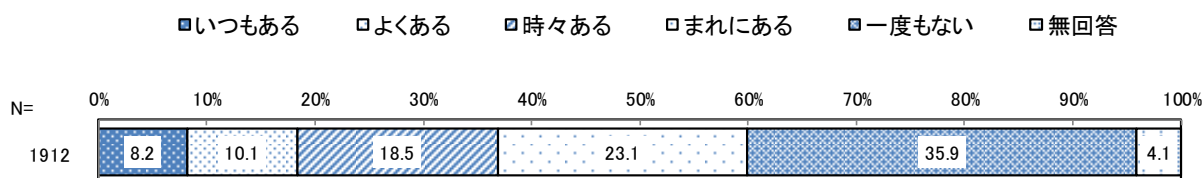


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 65.4%と最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 44.7%、「認知症の治療や診療に関すること」が 26.6%となっている。

(13) 認知症の人や家族の立場への理解

問 24 認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動（認知症の理解、本人の意思を尊重する心がけや接し方、声かけや見守り、相談助言や情報提供など）した経験がありますか。（○は1つ）

【図表 3-16-1 認知症の人や家族の立場への理解】

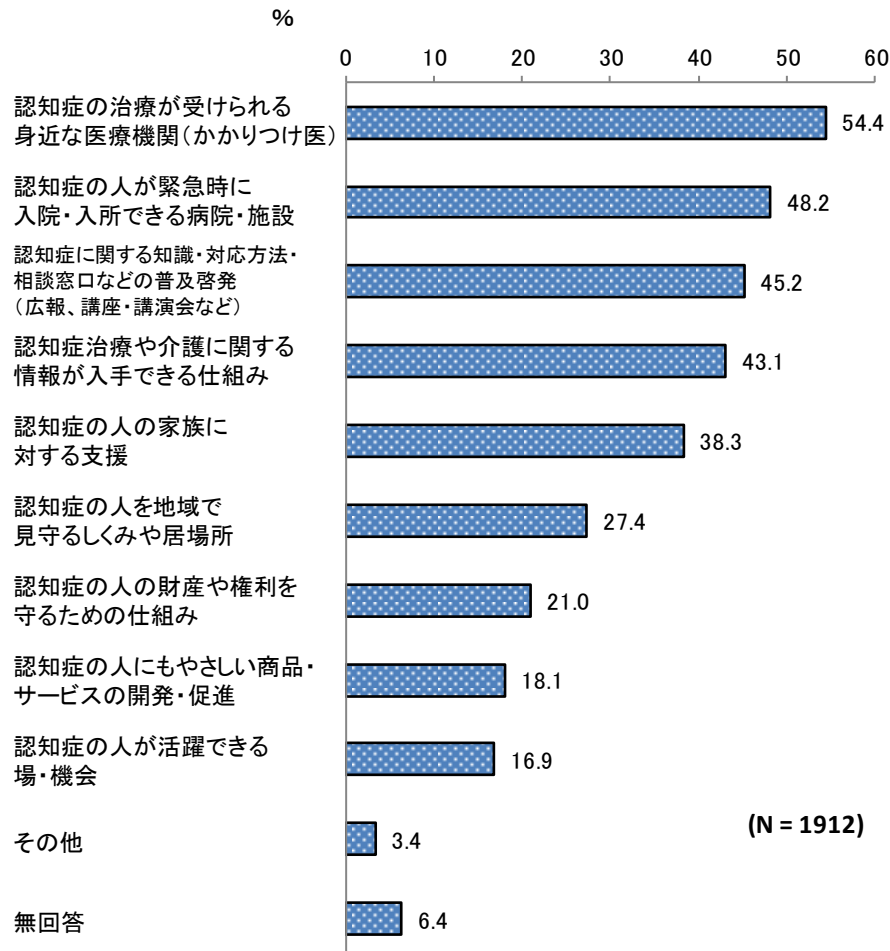


認知症の人やその家族の立場に立って考えたり、行動した経験の有無については、「一度もない」が35.9%と最も高く、次いで「まれにある」が23.1%、「時々ある」が18.5%となっている。

(14) 認知症対策として充実してほしいこと

問 25 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-17-1 認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)」が 54.4%と最も高く、次いで「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」が 48.2%、「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発(広報、講座・講演会など)」が 45.2%となっている。

【図表 3-17-2 認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

		回答数	認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広報、講座・講演会など）	認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）	認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み	認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設	認知症の人を地域で見守るしくみや居場所	認知症の人の家族に対する支援	(%)
全 体		1912	45.2	54.4	43.1	48.2	27.4	38.3	
性別	男性	749	49.8	53.0	43.5	43.3	23.5	36.2	
	女性	1119	42.5	56.4	43.2	51.8	30.4	39.9	
年齢別	65～69歳	435	48.0	59.8	51.7	54.7	31.0	48.0	
	70～74歳	470	48.3	58.3	45.5	47.9	25.3	38.1	
	75～79歳	462	44.6	55.2	39.0	47.8	28.4	36.6	
	80～84歳	272	40.4	49.3	38.6	43.8	27.9	31.6	
	85～89歳	147	48.3	44.9	42.2	42.9	27.9	38.8	
	90歳以上	86	32.6	45.3	27.9	45.3	16.3	19.8	

		回答数	認知症の人が活躍できる場・機会	認知症の人の財産や権利を守るための仕組み	認知症の人にもやさしい商品・サービスの促進	その他	無回答
全 体		1912	16.9	21.0	18.1	3.4	6.4
性別	男性	749	15.1	23.1	16.7	4.4	4.8
	女性	1119	18.1	19.7	19.1	2.6	7.3
年齢別	65～69歳	435	21.1	30.1	22.8	2.1	4.1
	70～74歳	470	16.6	19.1	16.6	1.3	4.5
	75～79歳	462	18.0	21.2	18.8	4.1	6.5
	80～84歳	272	11.0	11.8	12.5	4.8	9.2
	85～89歳	147	16.3	19.0	19.7	5.4	10.2
	90歳以上	86	10.5	17.4	14.0	9.3	10.5

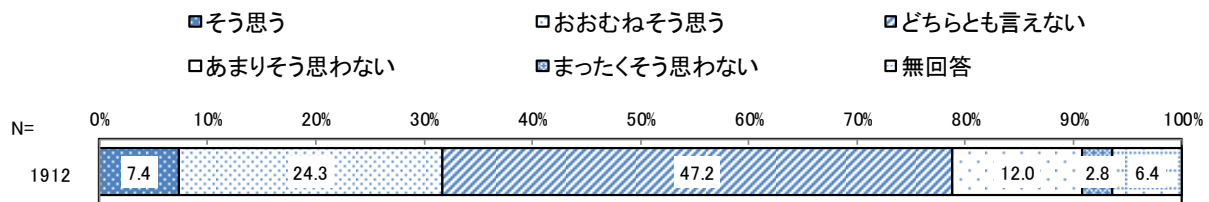
性別にみると、男性、女性ともに「認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）」が 5 割を超えて最も高く、女性では「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」（51.8%）が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、80 歳未満では「認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）」が 5 割を超え、最も高くなっている。65～69 歳では「認知症の人の家族に対する支援」（48.0%）、「認知症の人の財産や権利を守るための仕組み」（30.1%）が比較的高くなっている。

(15) 福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識

問 26 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちだと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-18-1 福岡市が認知症の人にとって
安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識】



福岡市が認知症の人にとって安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識は、「どちらとも言えない」が 47.2%と最も高い。次いで『そう思う』（「そう思う」「おおむねそう思う」の合計）が 31.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計）が 14.8%となっている。

【図表 3-18-2 福岡市が認知症の人にとって
安心して暮らし続けることができるまちであるかの認識×年齢別】

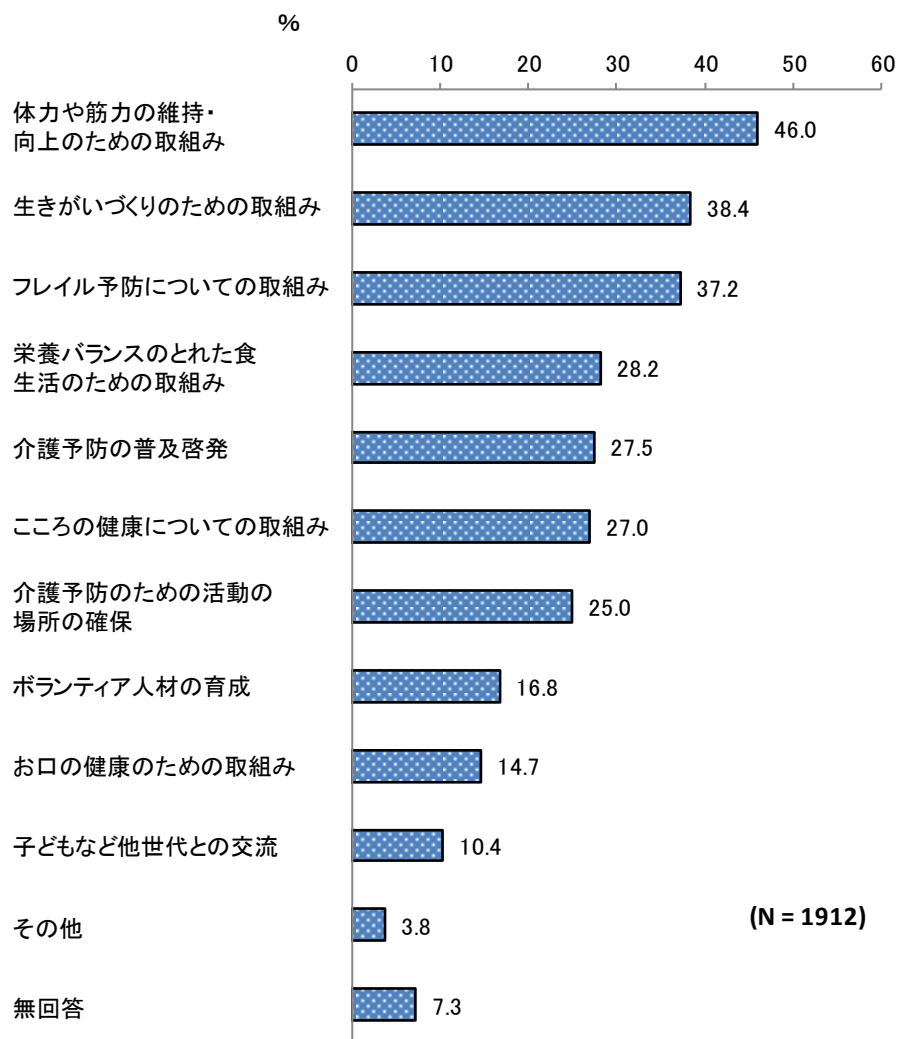
								(%)
		回答数	そう思う	おおむねそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
全 体		1912	7.4	24.3	47.2	12.0	2.8	6.4
年 齢 別	65～69歳	435	5.7	21.8	54.3	11.0	1.8	5.3
	70～74歳	470	6.8	26.8	46.2	10.4	3.6	6.2
	75～79歳	462	7.6	21.9	48.3	14.1	2.6	5.6
	80～84歳	272	7.7	25.0	44.9	14.0	2.6	5.9
	85～89歳	147	8.2	27.2	37.4	13.6	4.1	9.5
	90歳以上	86	14.0	31.4	36.0	5.8	3.5	9.3

年齢別にみると、『そう思う』は 90 歳以上で 4 割半ば、それ以外の年代では 3 割近くから 3 割半ばとなっている。

(16) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと

問 27 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-19-1 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと】



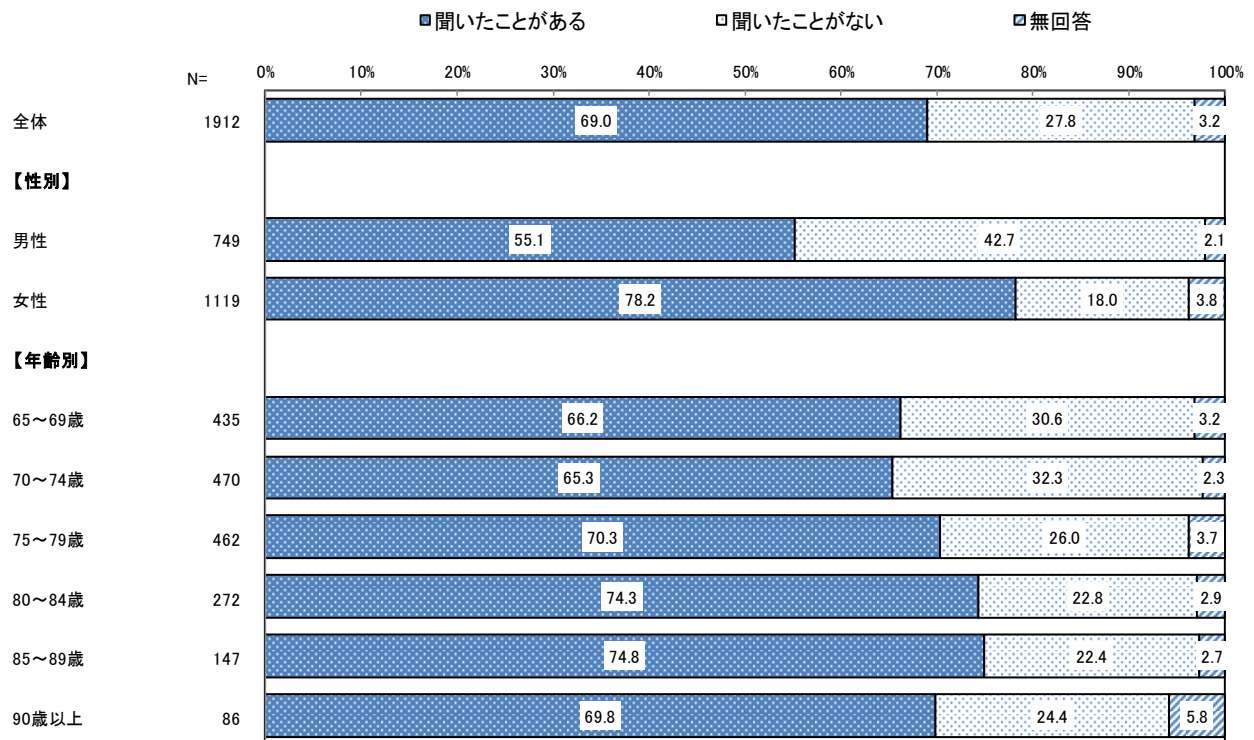
健康づくりで福岡市に力を入れてほしいことは、「体力や筋力の維持・向上のための取組み」が 46.0%と最も高く、次いで「生きがいをづくりのための取組み」が 38.4%、「フレイル予防についての取組み」が 37.2%となっている。

3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

（1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 28 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

【図表 3-20-1 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」は69.0%、「聞いたことがない」は27.8%であった。

性別にみると、女性では「聞いたことがある」（78.2%）が男性より高くなっている。

年齢別にみると、80～84歳、85～89歳では「聞いたことがある」がともに7割半ばで、他の年代に比べ高くなっている。

【図表 3-20-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

		(%)			
		回答数	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全 体		1912	69.0	27.8	3.2
経年	令和4年度	1786	66.0	32.3	1.7
	令和元年度	1764	63.0	34.8	2.2
	平成28年度	1886	53.6	45.1	1.3
	平成25年度	2985	46.8	49.6	3.6
	平成22年度	2939	40.6	52.9	6.5

過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

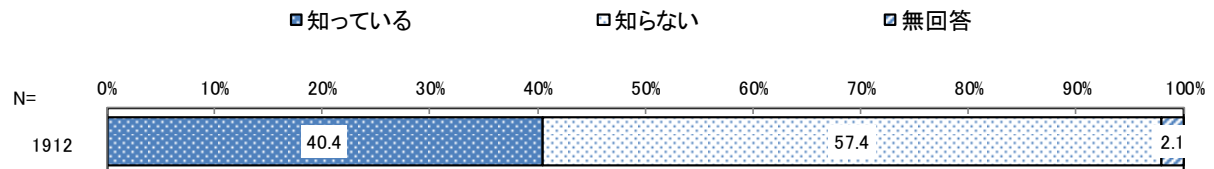
4. 権利擁護について

(1) 高齢者虐待の通報義務の認知度

問 29 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【図表 3-21-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】

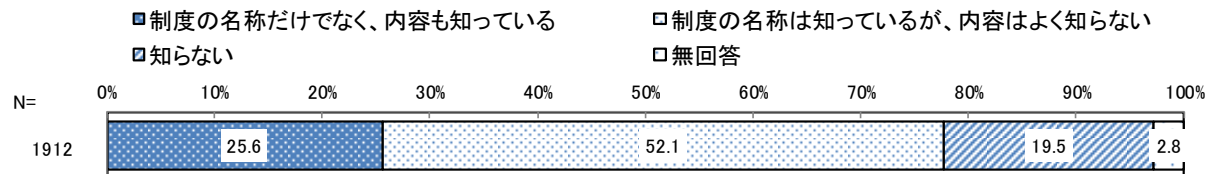


高齢者虐待の通報義務の認知度は、「知っている」が40.4%、「知らない」が57.4%となっている。

(2) 成年後見制度の認知度

問 30 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-22-1 成年後見制度の認知度】



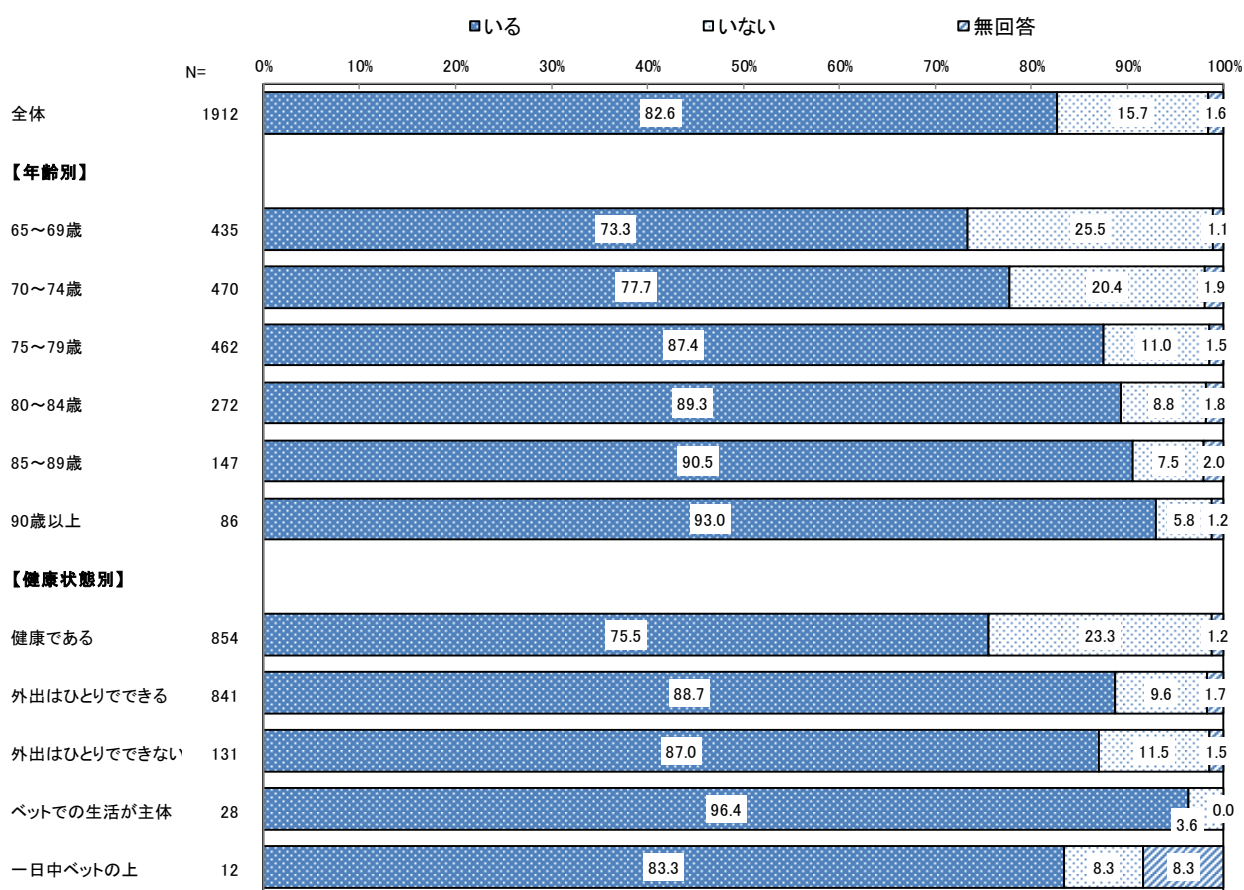
成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が52.1%と最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、制度の内容も知っている」が25.6%、「知らない」が19.5%となっている。

5. 医療について

(1) かかりつけ医の有無

問 31 あなたは、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 3-23-1 かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】



かかりつけ医の有無は、「いる」が82.6%、「いない」が15.7%となっている。

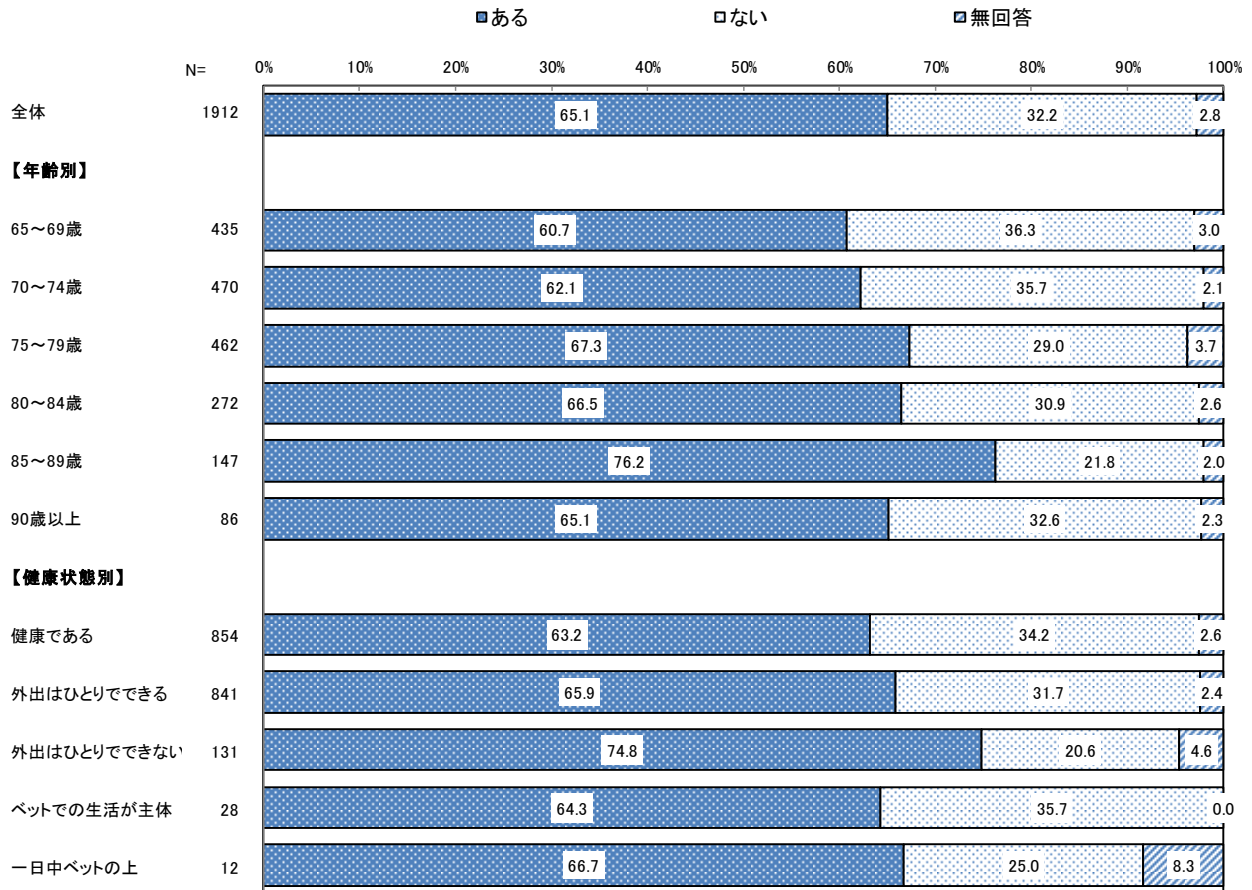
年齢別にみると、年代が高いほど「いる」の割合は高くなり、85歳以上では9割を超えている。

健康状態別にみると、健康である人は「いる」が75.5%であるのに対し、他の健康状態では「いる」が8割を超えている。

(2) 在宅医療への関心

問 32 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-24-1 在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



在宅医療への関心は、「ある」が 65.1%、「ない」が 32.2%となっている。

年齢別にみると、すべての年代で「ある」が過半数を占め、85～89 歳では 7 割半ばと高くなっている。

健康状態別にみると、外出はひとりでできない人では「ある」が 7 割半ばと他と比べ高くなっている。

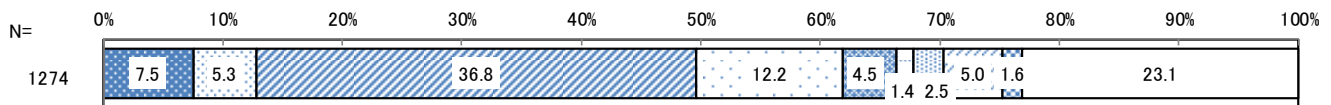
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問 33】で「2」か「3」と答えた方にうかがいます。

問 33-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【図表 3-25-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】

- 往診などをしてくれる医師がいないから
- 家族に負担をかけるから
- 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
- その他
- 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 介護してくれる家族がいないから
- 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
- 経済的に負担が大きいから
- 無回答



在宅医療を希望しないまたは実現が難しい理由は、「家族に負担をかけるから」が 36.8%と最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が 12.2%、「往診などをしてくれる医師がいないから」が 7.5%となっている。

【図表 3-25-3 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

		回答数	往診などをしてくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がいないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいから	その他	無回答
全 体		1274	7.5	5.3	36.8	12.2	4.5	1.4	2.5	5.0	1.6	23.1
年 齢 別	65～69歳	310	7.4	4.8	35.8	11.0	3.9	1.6	1.9	3.2	2.6	27.7
	70～74歳	319	5.6	4.4	38.6	10.0	4.4	1.6	1.3	6.0	0.9	27.3
	75～79歳	314	8.6	5.4	36.3	14.0	4.5	0.3	4.5	5.7	1.0	19.7
	80～84歳	161	7.5	6.2	34.8	16.1	6.2	2.5	2.5	5.6	1.9	16.8
	85～89歳	94	13.8	9.6	36.2	8.5	5.3	1.1	2.1	6.4	1.1	16.0
	90歳以上	51	3.9	2.0	37.3	17.6	3.9	2.0	3.9	2.0	5.9	21.6
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	355	5.1	4.5	16.1	33.2	5.9	1.4	1.7	5.9	2.3	23.9
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	521	10.4	6.0	43.4	4.4	3.8	1.3	3.1	4.6	1.3	21.7
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	52	3.8	5.8	48.1	3.8	3.8	0.0	1.9	1.9	0.0	30.8
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	42	4.8	7.1	38.1	4.8	9.5	7.1	2.4	4.8	0.0	21.4
	二世帯同居世帯	191	6.8	5.2	45.5	1.6	2.6	1.0	3.1	7.3	2.1	24.6
	三世帯同居世帯	30	3.3	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	23.3
	その他の世帯	45	6.7	4.4	44.4	6.7	11.1	0.0	4.4	2.2	2.2	17.8

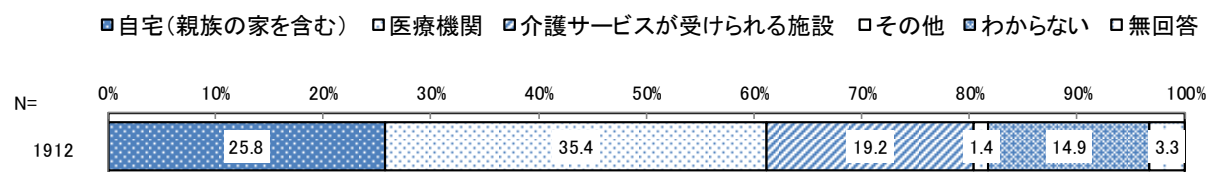
年齢別にみると、85～89歳では「往診などをしてくれる医師がいないから」(13.8%)が比較的高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「介護してくれる家族がいないから」(33.2%)が、それ以外の世帯では「家族に負担をかけるから」が4割弱から7割で、それぞれ比較的高くなっている。

(4) 最期を迎えたい場所

問 34 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。
(○は1つ)

【図表 3-26-1 最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 35.4%と最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 25.8%、「介護サービスが受けられる施設」が 19.2%となっている。

【図表 3-26-2 最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		回答数	自宅 (親族の家を含む)	医療 機関	介護 サービスが 受けられ る施設	その他	わから ない	(%) 無回 答
全 体		1912	25.8	35.4	19.2	1.4	14.9	3.3
性 別	男性	749	32.6	31.5	15.8	1.3	16.2	2.7
	女性	1119	20.7	38.1	21.9	1.4	14.1	3.8
世 帯 構 成 別	一人暮らし世帯	518	17.4	39.0	23.0	1.5	14.3	4.8
	夫婦だけで、二人とも 65歳以上の世帯	757	29.5	35.1	18.1	1.2	13.6	2.5
	夫婦だけで、どちらか が65歳以上の世帯	89	30.3	32.6	14.6	1.1	20.2	1.1
	あなたとその他の高齢 者のみの世帯	67	25.4	38.8	13.4	1.5	17.9	3.0
	二世帯同居世帯	295	27.1	31.2	19.7	1.7	17.6	2.7
	三世帯同居世帯	44	34.1	27.3	20.5	2.3	13.6	2.3
	その他の世帯	76	25.0	38.2	17.1	1.3	13.2	5.3

性別にみると、男性では「自宅(親族の家を含む)」(32.6%)が女性より高くなっている。女性では「医療機関」(38.1%)が他の場所に比べて比較的高くなっている。

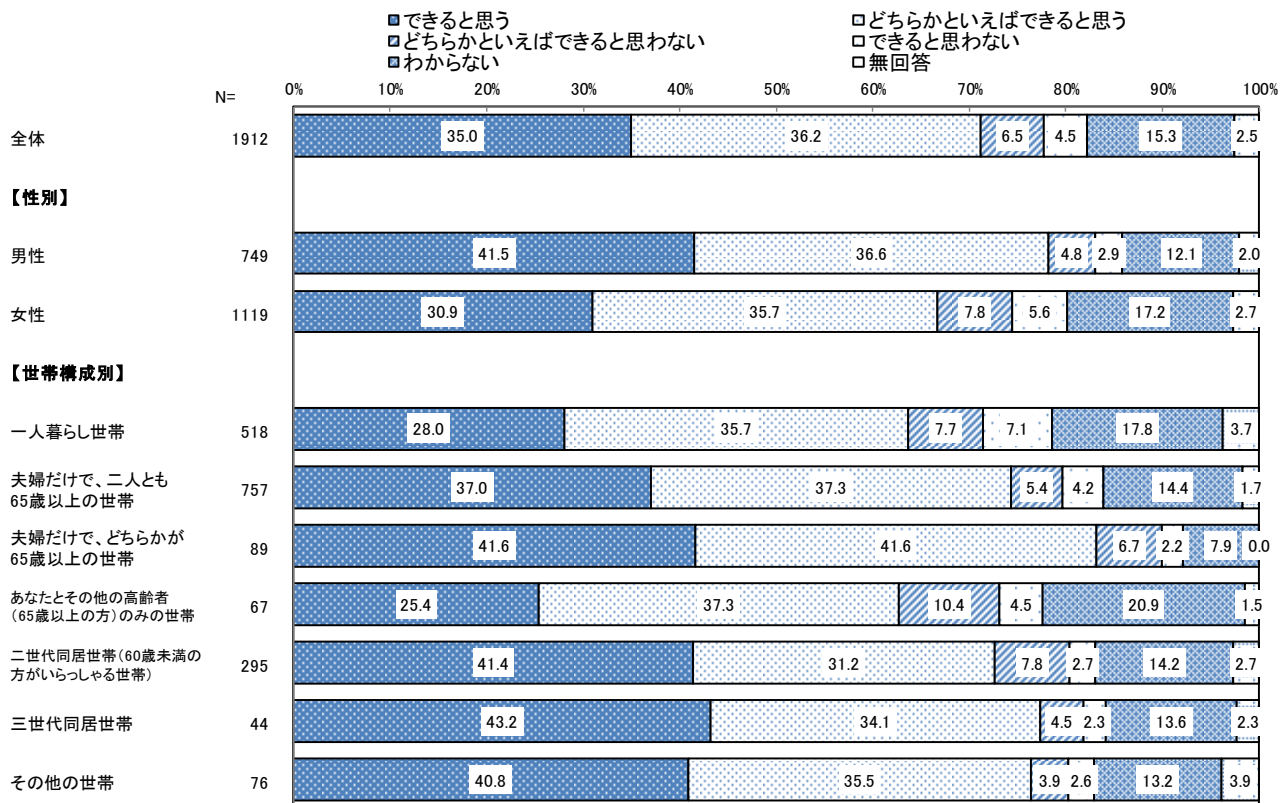
世帯構成別にみると、三世帯同居世帯では「自宅(親族の家を含む)」(34.1%)が最も高く、それ以外では「医療機関」が3割強から4割弱で最も高くなっている。

6. これからについて

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 35 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思いますか。(○は1つ)

【図表 3-27-1 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成別】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかについては、「できると思う」が35.0%、「どちらかといえばできると思う」が36.2%で、これらを合わせた『できると思う』が71.2%となっており、「わからない」が15.3%となっている。

性別にみると、男性では「できると思う」(41.5%)が女性より高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯、二世帯同居世帯(60歳未満の方がいらっしゃる世帯)、三世帯同居世帯、その他の世帯では「できると思う」の割合が4割を超え、比較的高くなっている。

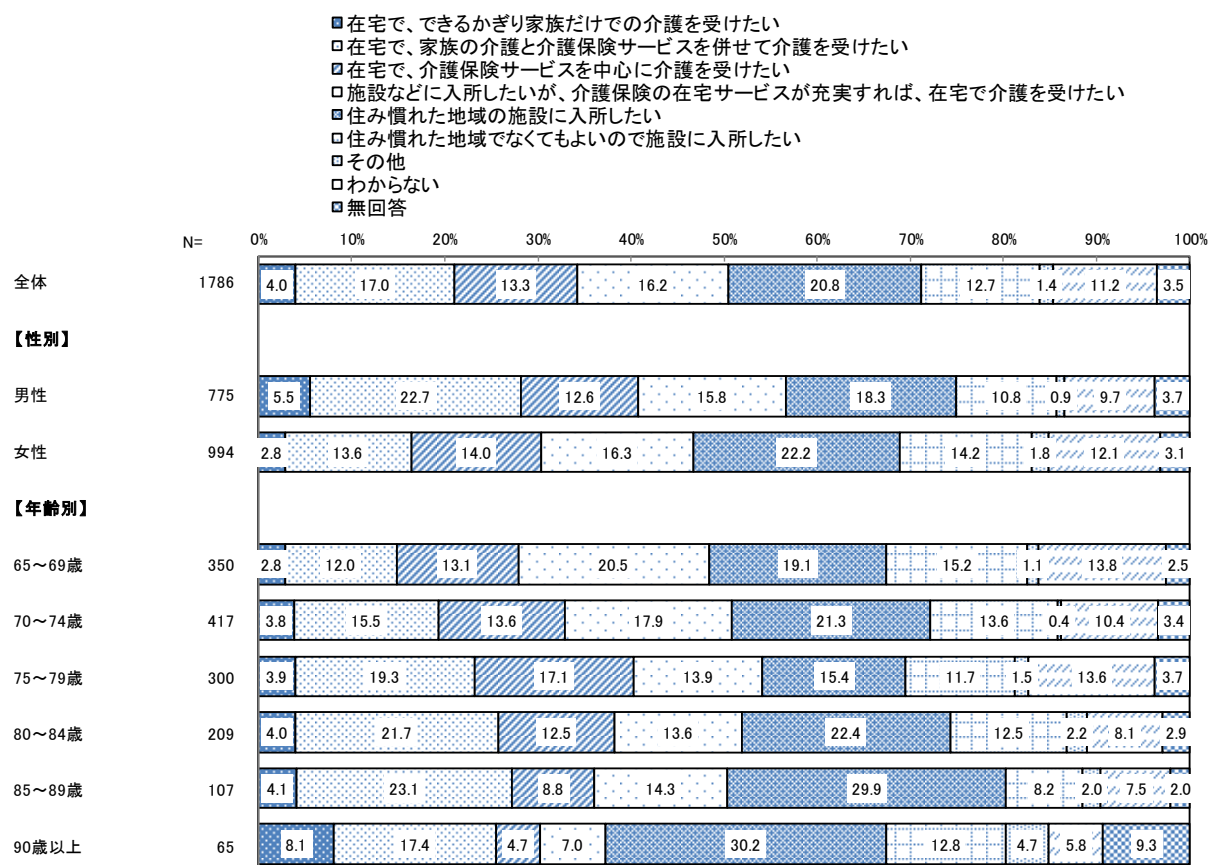
(2) 今後の介護意向

問 36 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。

(○は1つ)

※ここで在宅とは、自宅や家族の家のことを指します。

【図表 3-28-1 今後の介護意向×性別・年齢別】



今後の介護意向は、「住み慣れた地域の施設に入所したい」が 20.8%と最も高く、次いで「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が 17.0%、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」が 16.2%となっている。

また「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」を合わせた『在宅で介護を受けたい』の割合は 50.5%と半数を占めている。

【図表 3-28-2 今後の介護意向×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	(%)								
			在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい	在宅で、介護保険サービスを中心にした介護を受けた	在宅で、介護保険サービスが充実すれば、在宅で介護を受けた	施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けた	住み慣れた地域の施設に入所したい	住み慣れた地域でなくともよいので施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全 体		1912	4.0	17.0	13.3	16.2	20.8	12.7	1.4	11.2	3.5
性別	男性	749	5.5	22.7	12.6	15.8	18.3	10.8	0.9	9.7	3.7
	女性	1119	2.8	13.6	14.0	16.3	22.2	14.2	1.8	12.1	3.1
年齢別	65～69歳	435	2.8	12.0	13.1	20.5	19.1	15.2	1.1	13.8	2.5
	70～74歳	470	3.8	15.5	13.6	17.9	21.3	13.6	0.4	10.4	3.4
	75～79歳	462	3.9	19.3	17.1	13.9	15.4	11.7	1.5	13.6	3.7
	80～84歳	272	4.0	21.7	12.5	13.6	22.4	12.5	2.2	8.1	2.9
	85～89歳	147	4.1	23.1	8.8	14.3	29.9	8.2	2.0	7.5	2.0
	90歳以上	86	8.1	17.4	4.7	7.0	30.2	12.8	4.7	5.8	9.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	1.7	6.6	16.2	15.4	24.3	16.8	1.9	11.4	5.6
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	3.4	22.5	14.1	16.0	17.7	11.9	1.6	9.9	2.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	4.5	23.6	10.1	28.1	20.2	6.7	2.2	3.4	1.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	3.0	17.9	16.4	13.4	23.9	11.9	0.0	11.9	1.5
	二世帯同居世帯	295	6.1	21.0	8.8	18.0	20.3	10.8	0.7	11.9	2.4
	三世帯同居世帯	44	11.4	18.2	6.8	13.6	22.7	18.2	0.0	6.8	2.3
	その他の世帯	76	6.6	14.5	10.5	6.6	22.4	10.5	1.3	25.0	2.6

性別にみると、男性では『在宅で介護を受けたい』(56.6%)が女性より高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では『在宅で介護を受けたい』(37.2%)が他と比べ低く、「住み慣れた地域の施設に入所したい」(30.2%)が高くなっている。

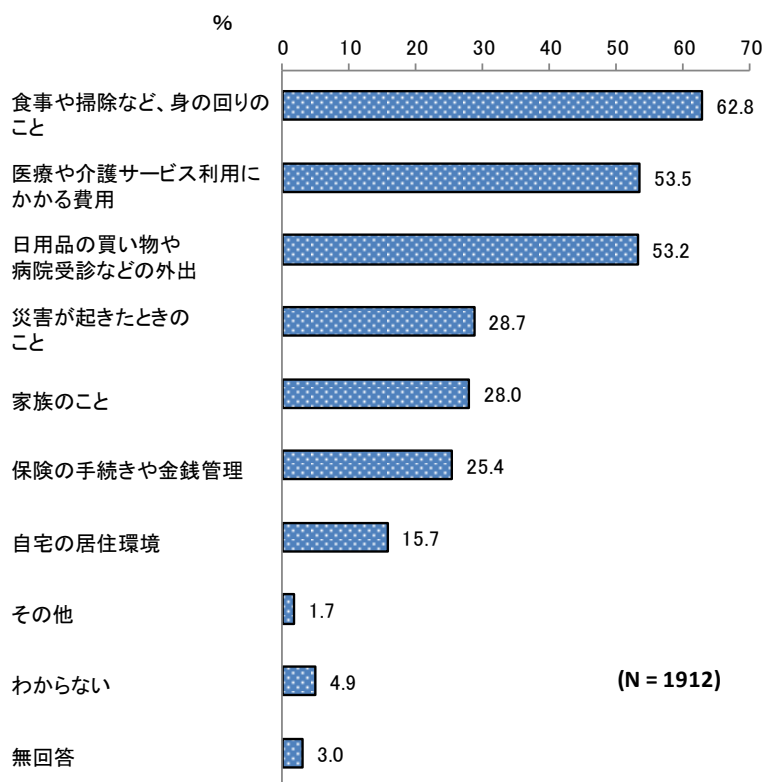
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯、その他の世帯では『在宅で介護を受けたい』が4割未満と低い。夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯では「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、在宅で介護を受けたい」(28.1%)が比較的高くなっている。

（３）医療や介護が必要になったとき不安なこと

問 37 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。

（○はいくつでも）

【図表 3-29-1 医療や介護が必要になったとき不安なこと】



医療や介護が必要になったとき不安なことは、「食事や掃除など、身の回りのこと」が 62.8%と最も高く、次いで「医療や介護サービス利用にかかる費用」が 53.5%、「日用品の買い物や病院受診などの外出」が 53.2%となっている。

【図表 3-29-2 医療や介護が必要になったとき不安なこと×健康状態別】

		回答数	食事や掃除など、身の回りのこと	日用品の買い物や病院受診などの外出	災害が起きたときのこと	自宅の居住環境	医療や介護サービス利用にかかる費用	保険の手続きや金銭管理	家族のこと	その他	わからない	無回答
全体		1912	62.8	53.2	28.7	15.7	53.5	25.4	28.0	1.7	4.9	3.0
健康状態別	健康である	854	63.3	51.6	26.0	15.5	51.5	25.5	28.0	1.8	6.0	2.2
	外出はひとりでできる	841	64.0	57.0	30.2	16.1	58.4	26.0	30.1	1.2	3.0	3.0
	外出はひとりでできない	131	66.4	58.8	44.3	16.0	45.0	26.7	25.2	3.1	6.1	1.5
	ベッドでの生活が主体	28	39.3	25.0	14.3	14.3	50.0	17.9	10.7	3.6	10.7	7.1
一日中ベッドの上		12	33.3	25.0	16.7	0.0	41.7	8.3	0.0	16.7	25.0	0.0

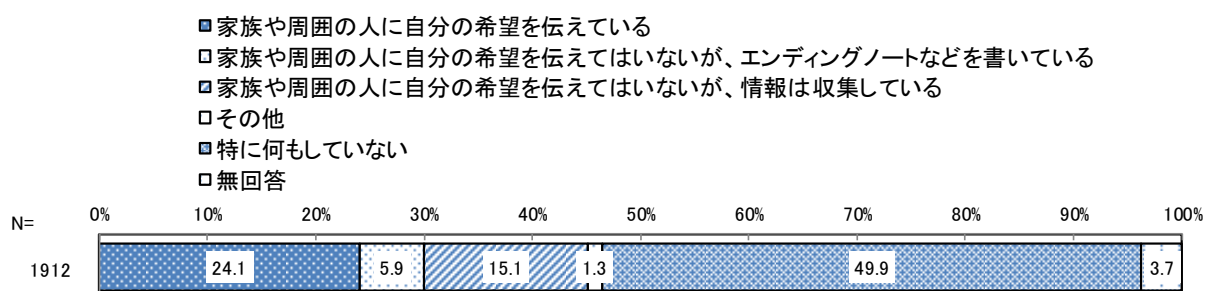
健康状態別にみると、健康である人、外出はひとりでできる人、外出はひとりでできない人では「食事や掃除など、身の回りのこと」が 6 割を超え最も高い。それ以外の人では「医療や介護サービス利用にかかる費用」が最も高い。

(4) 終活について

問 38 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

(一番近いもの1つに○)

【図表 3-30-1 終活について】



終活については、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」が 24.1%と最も高く、次いで「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している」が 15.1%、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノートなどを書いている」が 5.9%となっている。なお、「特に何もしていない」が 49.9%となっている。

【図表 3-30-2 終活について×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	家族や周囲の人に自分の希望を伝えている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、エンディングノートなどを書いている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1912	24.1	5.9	15.1	1.3	49.9	3.7
性別	男性	749	17.4	5.6	16.8	0.8	56.3	3.1
	女性	1119	28.3	6.2	14.2	1.5	45.8	3.9
年齢別	65～69歳	435	18.6	3.9	17.5	1.1	56.8	2.1
	70～74歳	470	20.0	3.8	18.1	0.9	54.7	2.6
	75～79歳	462	26.0	9.1	15.4	1.7	43.3	4.5
	80～84歳	272	22.4	7.7	11.4	1.8	51.1	5.5
	85～89歳	147	40.8	4.8	10.9	0.7	39.5	3.4
	90歳以上	86	38.4	7.0	7.0	0.0	41.9	5.8
世帯構成別	一人暮らし世帯	518	26.3	9.3	13.1	2.3	43.6	5.4
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	757	24.4	5.3	15.6	0.4	51.7	2.6
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	89	19.1	1.1	23.6	2.2	52.8	1.1
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	67	28.4	3.0	16.4	1.5	46.3	4.5
	二世帯同居世帯	295	18.6	5.4	18.0	1.4	53.2	3.4
	三世帯同居世帯	44	27.3	2.3	20.5	0.0	50.0	0.0
	その他の世帯	76	27.6	3.9	3.9	1.3	59.2	3.9

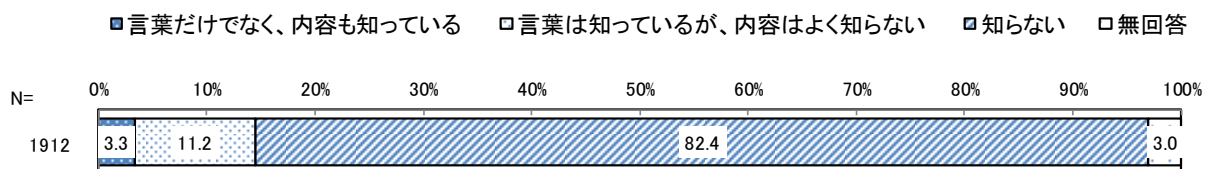
性別にみると、女性では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」(28.3%)が男性より高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、どちらかが 65 歳以上の世帯では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいないが、情報は収集している」(23.6%)が他と比べ高くなっている。

（５）「ACP」又は「人生会議」の認知

問 39 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-31-1 「ACP」又は「人生会議」の認知】

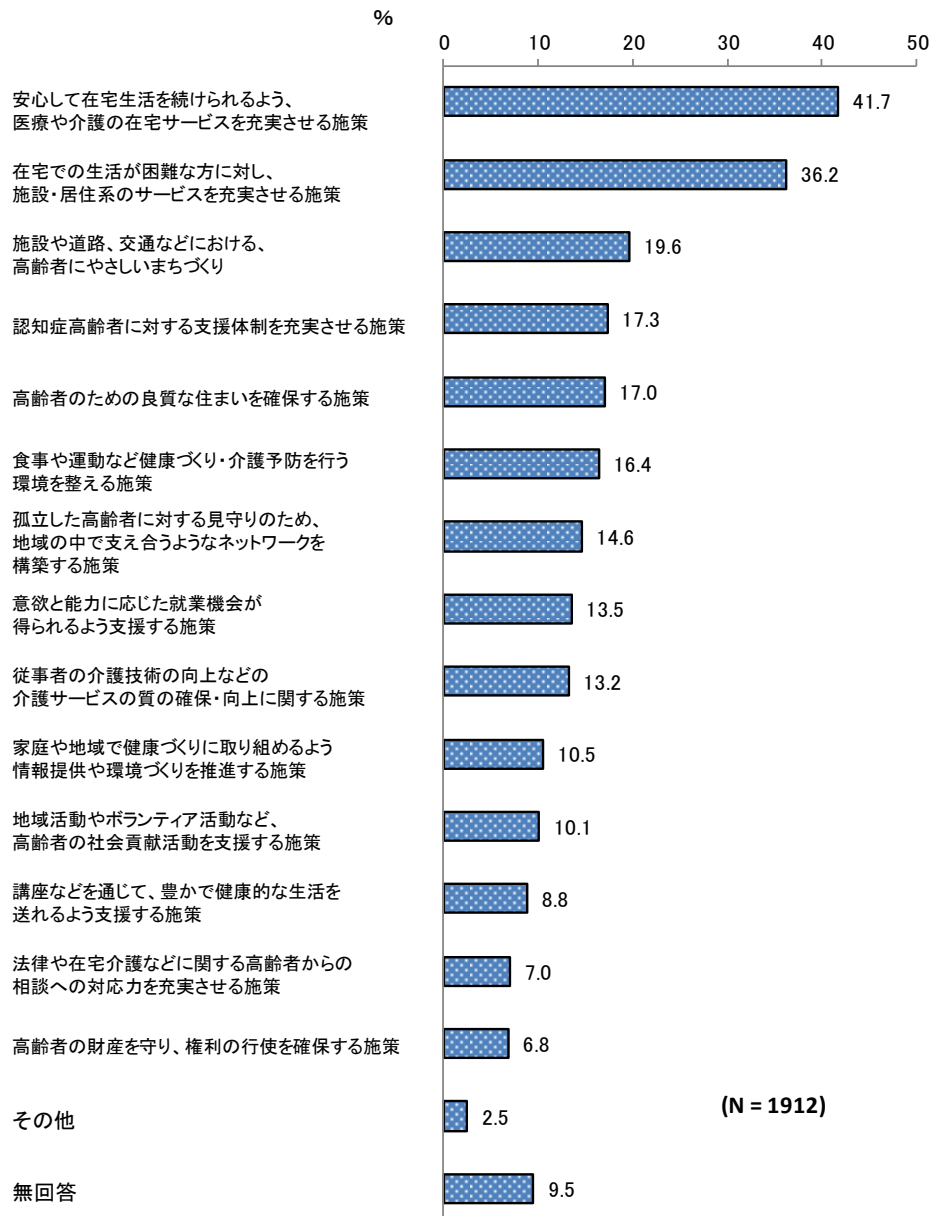


「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」又は「人生会議」という言葉の認知度については、「知らない」が 82.4%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が 11.2%、「言葉だけでなく、内容も知っている」が 3.3%となっている。

(6) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 40 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-32-1 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】



行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 41.7%と最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 36.2%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 19.6%となっている。

		回答数	施策を送れるよう支援する施策	講座などを通じて、豊かで健康的な生活を送れるよう支援する施策	地域の活動やボランティア活動などの高年齢者の社会貢献活動を支援する施策	就業機会が得られるよう支援する施策	意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策	くりに取り組めるよう情報を提供や環境づくりを推進する施策	家庭や地域で健康づくりに取り組むよう環境を整える施策	食生活や運動など健康づくり・介護予防を促す環境を整える施策	安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策	在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策	従事者の介護技術の向上などの介護サービスの質の確保・向上に関する施策
全 体		1912	8.8	10.1	13.5	10.5	16.4	41.7	36.2	13.2			
性別	男性	749	10.8	11.9	15.4	12.8	17.4	43.8	32.2	11.7			
	女性	1119	7.7	8.6	12.6	8.8	15.6	40.7	39.1	14.5			
年齢別	65～69歳	435	8.7	10.6	22.5	7.8	17.7	37.7	37.9	14.5			
	70～74歳	470	7.4	10.4	16.0	12.8	15.7	42.6	38.7	11.5			
	75～79歳	462	11.3	10.2	10.8	9.7	15.6	44.8	34.4	16.0			
	80～84歳	272	8.8	9.9	6.3	11.0	14.3	47.1	36.0	9.6			
	85～89歳	147	9.5	10.2	7.5	11.6	15.6	38.1	28.6	15.6			
	90歳以上	86	5.8	2.3	5.8	10.5	23.3	34.9	39.5	11.6			

		回答数	認知症高齢者に対する支援体制を充実させる施策	高齢者の財産を確保し、権利の行使を確	法律や在宅介護などに関する高齢者からの相談への対応力を充実させる施策	孤立した高齢者に対する見守りのため、地域の中で支え合うようなネットワークを構築する施策	高齢者のための良質な住まいを確保する施策	施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり	その他	無回答
全 体		1912	17.3	6.8	7.0	14.6	17.0	19.6	2.5	9.5
性別	男性	749	16.8	7.9	6.0	13.4	18.6	18.6	3.5	8.3
	女性	1119	17.4	6.2	7.7	15.7	15.7	20.3	1.8	9.9
年齢別	65～69歳	435	16.6	9.0	4.8	15.2	20.5	18.9	2.1	9.2
	70～74歳	470	16.8	6.8	7.2	14.5	17.9	18.3	3.2	8.5
	75～79歳	462	16.2	6.1	7.1	17.1	16.0	21.0	1.7	6.9
	80～84歳	272	16.9	5.1	9.2	13.6	15.1	21.3	3.3	10.3
	85～89歳	147	22.4	5.4	10.2	9.5	10.9	17.7	2.7	15.6
	90歳以上	86	19.8	8.1	4.7	14.0	12.8	20.9	2.3	11.6

性別にみると、女性では「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」（39.1%）が男性より高くなっている。

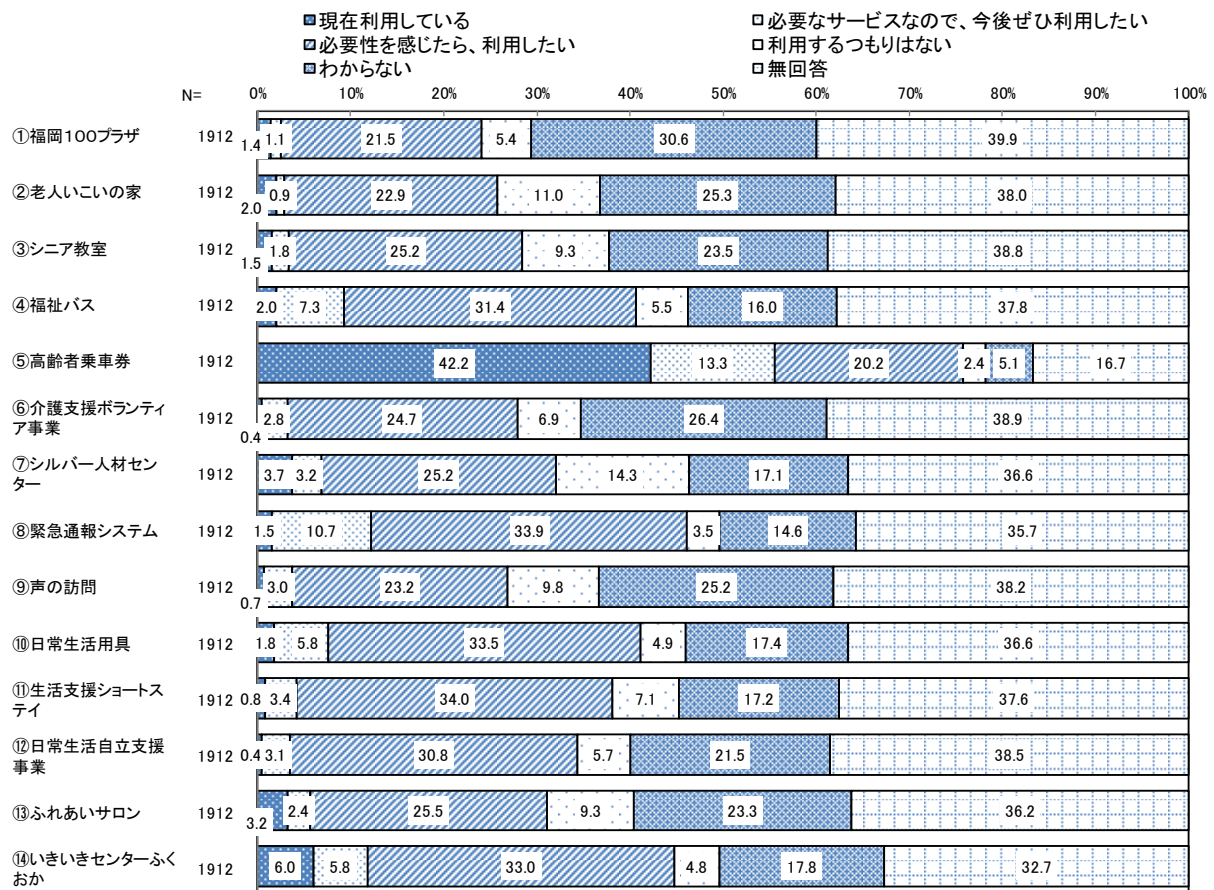
年齢別にみると、70 歳代、80～84 歳では「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 4 割を超え、最も高くなっている。65～69 歳では「意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策」(22.5%) が他に比べ高くなっている。

(7) 介護サービスの利用

①サービスの利用状況・利用意向

問 42 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-33-1 サービスの利用状況・利用意向】



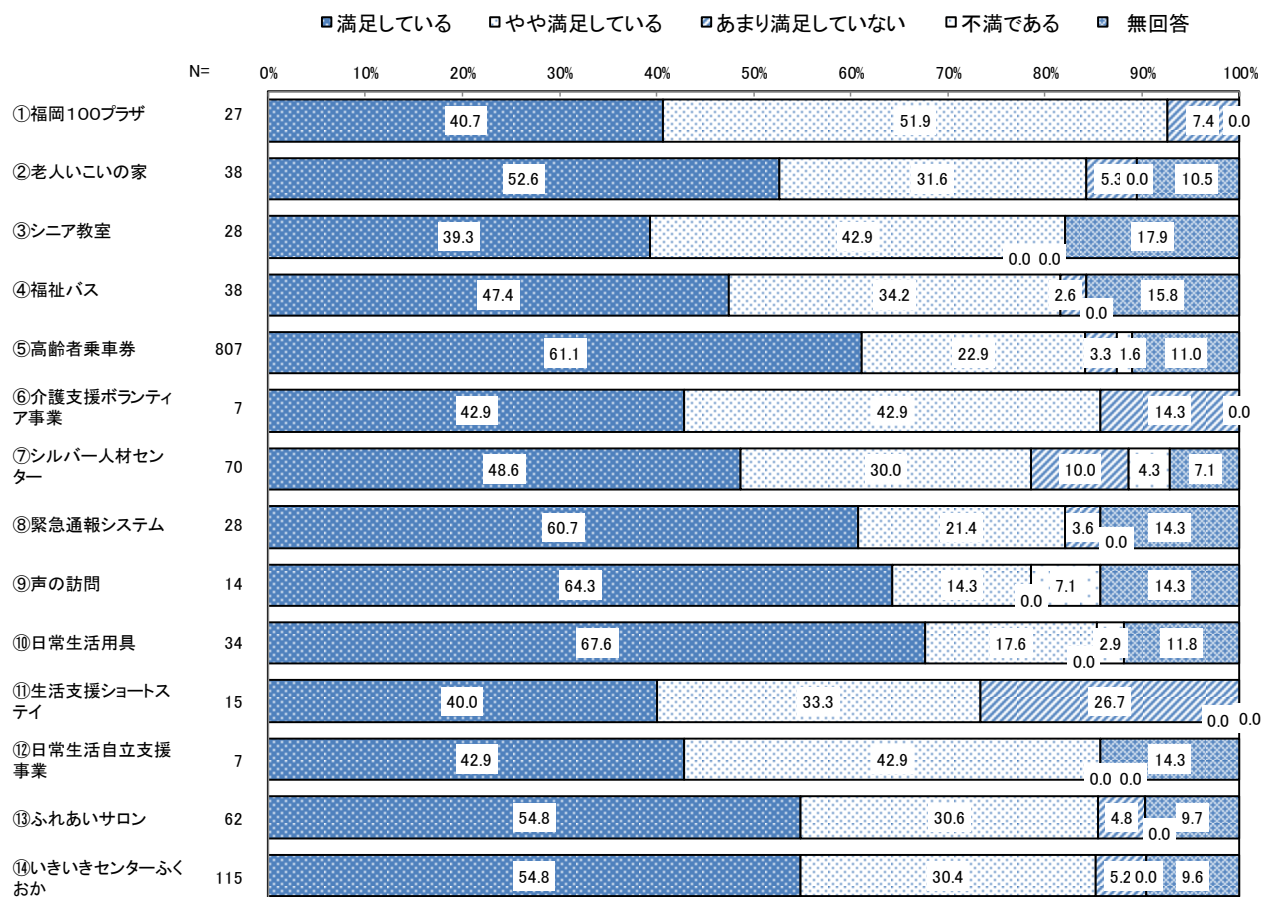
サービスの利用状況・利用意向をみると、「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が42.2%で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか」が6.0%、「シルバー人材センター」が3.7%、「ふれあいサロン」が3.2%となっており、それ以外のサービスは1%未満から2%となっている。

また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が44.6%で最も高く、次いで「日常生活用具」が39.3%、「いきいきセンターふくおか」が38.8%となっている。

②サービスの満足度

問 42 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。
(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-33-2 サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、「シルバー人材センター」「声の訪問」「生活支援ショートステイ」で、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が7割台、それ以外の項目では8割を超えた。一方、「あまり満足していない」「不満である」を合わせた『満足していない』の割合は、「生活支援ショートステイ」で26.7%、「介護支援ボランティア事業」「シルバー人材センター」でともに14.3%と、比較的高い割合となっている。